

札幌市へのIターン移住に関するアンケート調査 【2024年1-2月調査】

調査報告書

2024.3.13

【目次】

調査概要	・・・	1
調査項目	・・・	2
基本属性	・・・	3
調査結果	・・・	4
移住開始時就業者	・・・	34
最近の移住者の動向	・・・	59
参考データとの比較	・・・	76
さっぽろ圏移住フェア2024アンケート	・・・	77
テレワークに関する国の調査	・・・	82

<調査目的>

将来の移住促進施策などへの活用を目的に、道外出身者で札幌市へ「Iターン移住」した人について、広く実態を把握することをめざし調査を実施します。

<調査方法>

弊社サービスであるインサーチ札幌にて調査を実施。
インサーチモニターおよび外部提携先モニターを対象としたインターネットアンケート調査。

<調査実施期間>

2024年1月26日（金）～2024年2月8日（木）

<調査対象者>

有効回答数（計） N=151

<調査方式>

スクリーニング調査を実施、有効回答数（計） N=3400
このうち、下記条件を全て満たす本調査対象者（N=200）を抽出

- ・札幌市への居住経験を有すること
- ・札幌市居住経験のきっかけに「実家（親が所有する家）があるから」「進学」「家業承継のため」のいずれにもあてはまらないこと
- ・北海道外出身者であること

調査項目を下記に記載します。

本調査

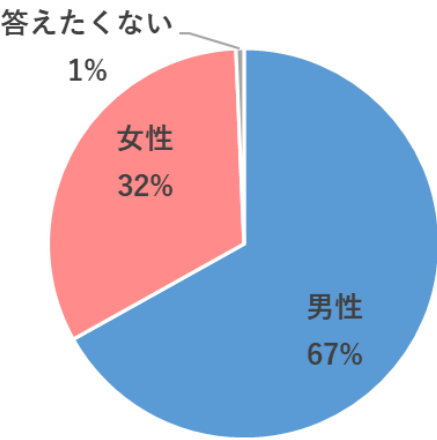
No.	調査項目
1	札幌市Iターン移住の直前の在住地
2	札幌市Iターン移住を開始した時期
3	札幌市Iターン移住を開始したときの家族構成
4	札幌市Iターン移住を開始したときの職業（業種）
5	札幌市Iターン移住の経緯
6	札幌市Iターン移住を検討した理由
7	札幌市Iターン移住検討時の課題・不安要素
8	札幌市以外のIターン移住先検討状況
9	具体的な検討地、および札幌を選択した理由
10	移住検討の際、生活面で重要視したこと
11	移住検討の際、職業面で重要視したこと
12	移住検討時の情報収集先
13	移住検討時に収集できなかった情報
14	実際に活用した制度・サービス
15	移住検討にあたり、行政に望む支援策
16	実際に活用した企業・団体の取組
17	移住検討にあたり、企業・団体に望む取組
18	Iターン移住前後での世帯主年収の比較
19	降雪地在住経験の有無
20	札幌市の冬を経験して思うこと
21	札幌市へのIターン移住の推奨度、ならびにその理由
22	札幌市Iターン移住前の期待・不安
23	札幌市Iターン移住後の心境の変化

スクリーニング調査

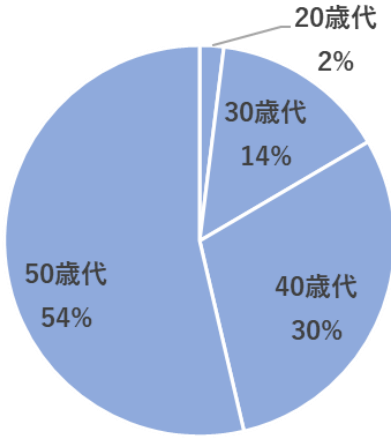
No.	調査項目
SC-1	札幌市への居住経験の有無
SC-2	札幌市居住のきっかけ
SC-3	出身地

基本属性

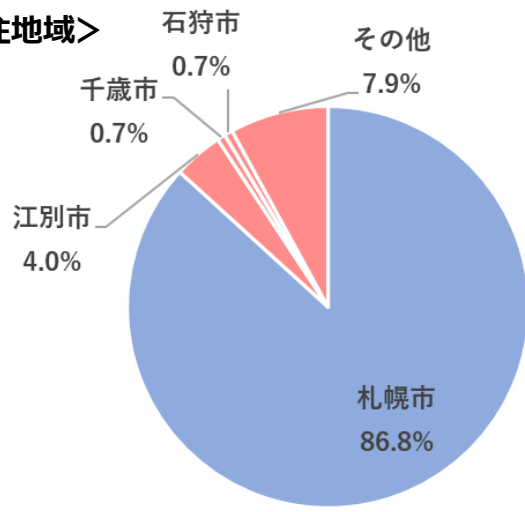
＜性別＞



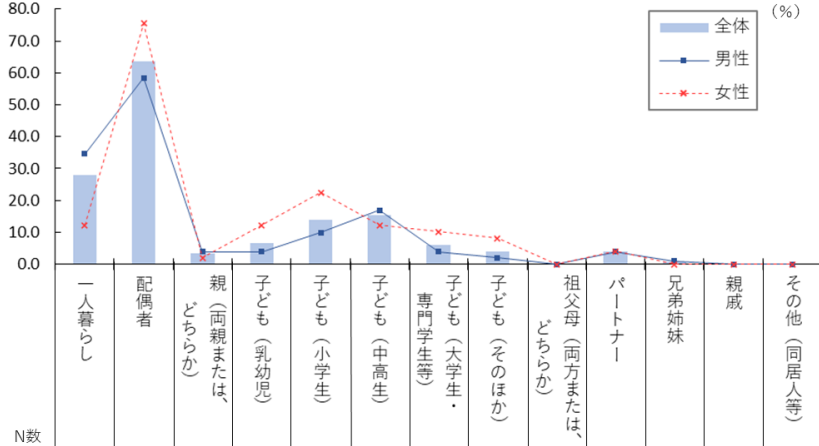
＜年代＞



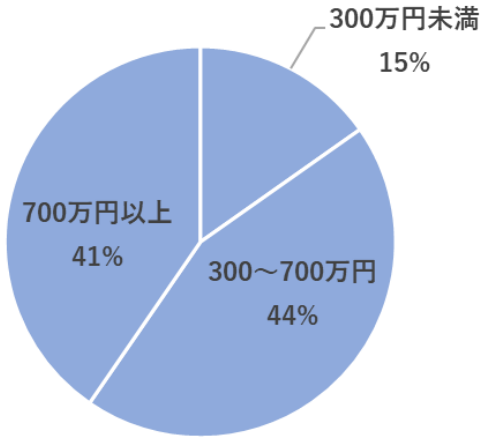
＜居住地域＞



＜同居家族構成＞



＜世帯年収＞



N数		一人暮らし	配偶者	親 (両親または、どちらか)	子ども (乳幼児)	子ども (小学生)	子ども (中学生)	子ども (大学生・専門学校生等)	子ども (その他)	祖父母 (両方または、どちらか)	パートナー	兄弟姉妹	親戚	その他 (同居人等)
性別	全体	151	27.8	63.6	3.3	6.6	13.9	15.2	6.0	4.0	0.0	4.0	0.7	0.0
	男性	101	34.7	58.4	4.0	4.0	9.9	16.8	4.0	2.0	0.0	4.0	1.0	0.0
	女性	49	12.2	75.5	2.0	12.2	22.4	12.2	10.2	8.2	0.0	4.1	0.0	0.0
年代別	20歳代	3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	22	18.2	59.1	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	22.7	0.0	0.0	0.0
	40歳代	45	31.1	57.8	2.2	6.7	26.7	24.4	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	50歳代	81	28.4	67.9	4.9	2.5	3.7	14.8	7.4	7.4	0.0	1.2	0.0	0.0

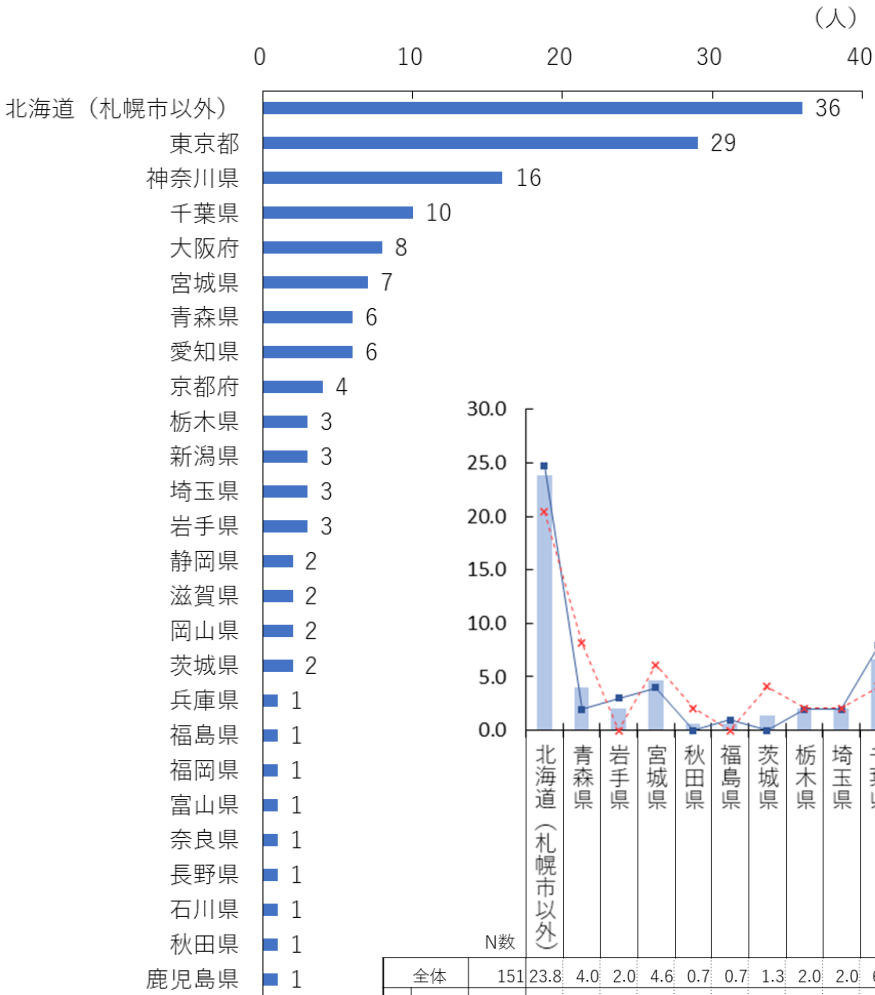
全体 + 5 % 全体 + 1.0 % 全体 - 5 %

調査結果

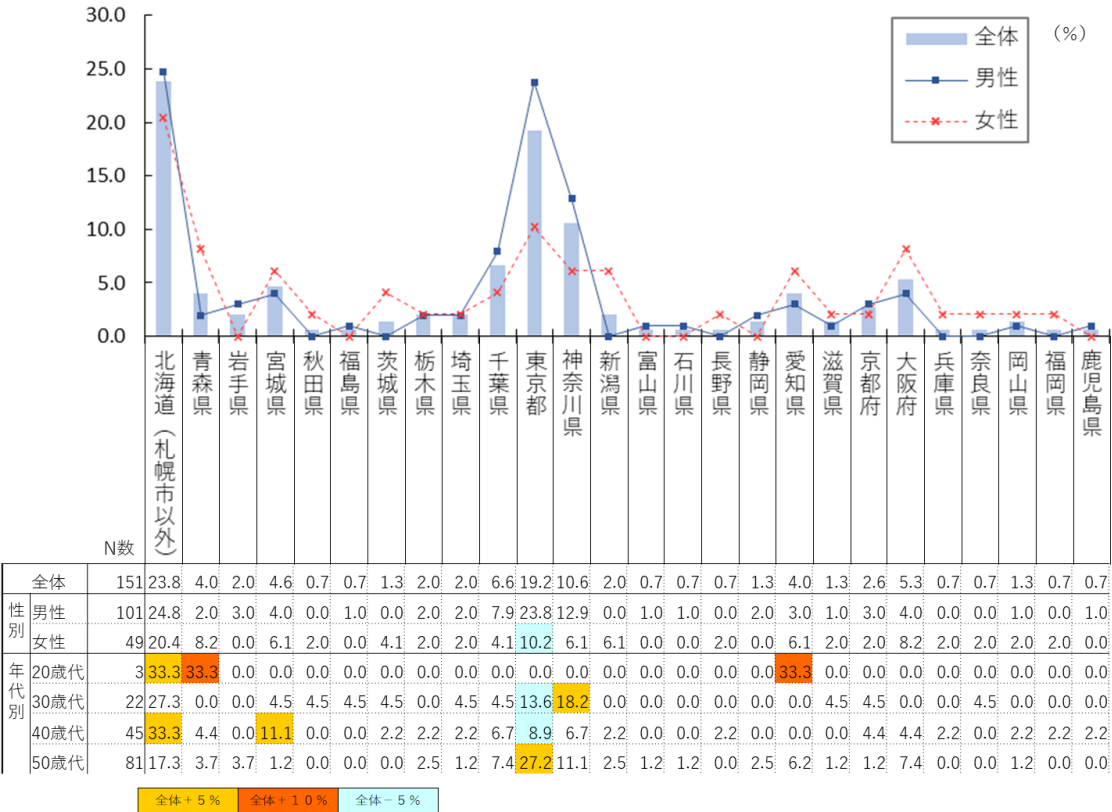
札幌市Iターン移住の直前の居住地

Q. あなたは札幌市に住む前、どちらの地域にお住まいでしたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道（札幌市以外）	36	23.8
2	青森県	6	4.0
3	岩手県	3	2.0
4	宮城県	7	4.6
5	秋田県	1	0.7
6	山形県	0	0.0
7	福島県	1	0.7
8	茨城県	2	1.3
9	栃木県	3	2.0
10	群馬県	0	0.0
11	埼玉県	3	2.0
12	千葉県	10	6.6
13	東京都	29	19.2
14	神奈川県	16	10.6
15	新潟県	3	2.0
16	富山県	1	0.7
17	石川県	1	0.7
18	福井県	0	0.0
19	山梨県	0	0.0
20	長野県	1	0.7
21	岐阜県	0	0.0
22	静岡県	2	1.3
23	愛知県	6	4.0
24	三重県	0	0.0
25	滋賀県	2	1.3
26	京都府	4	2.6
27	大阪府	8	5.3
28	兵庫県	1	0.7
29	奈良県	1	0.7
30	和歌山県	0	0.0
31	鳥取県	0	0.0
32	島根県	0	0.0
33	岡山県	2	1.3
34	広島県	0	0.0
35	山口県	0	0.0
36	徳島県	0	0.0
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	0	0.0
40	福岡県	1	0.7
41	佐賀県	0	0.0
42	長崎県	0	0.0
43	熊本県	0	0.0
44	大分県	0	0.0
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	1	0.7
47	沖縄県	0	0.0
48	海外	0	0.0
	不明	0	0.0
	全体	151	100.0



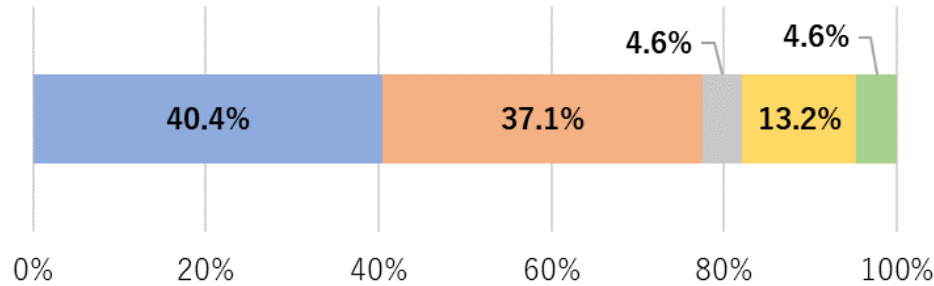
札幌市以外の道内から移住が最多、次いで東京都、
神奈川県の順に移住者が多い。
首都圏からが主流な一方、東北、北陸、東海、近畿、
中国、九州など全国から移住がある。



札幌市Iターン移住を開始した時期

Q. あなたが札幌市に住み始めたのはいつですか。

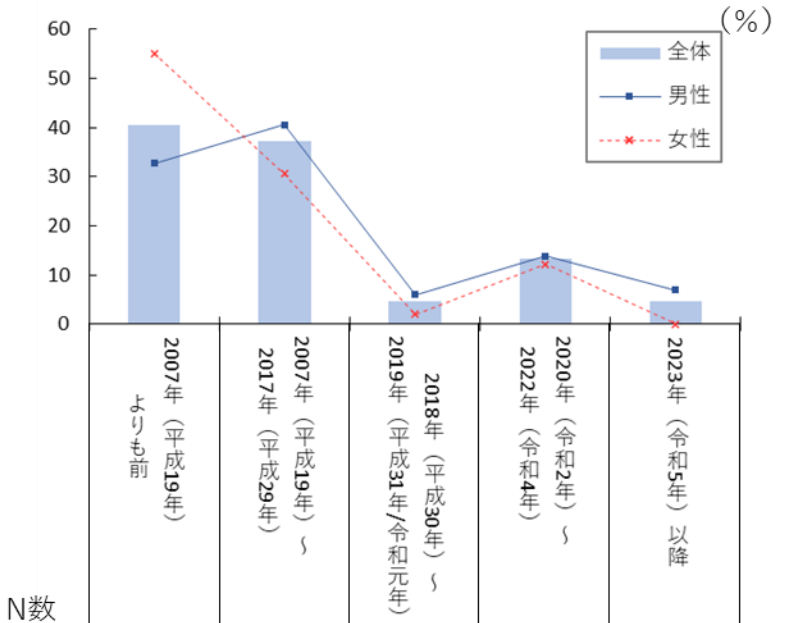
No.	カテゴリー名	n	%
1	2007年（平成19年）よりも前	61	40.4
2	2007年（平成19年）～2017年（平成29年）	56	37.1
3	2018年（平成30年）～2019年（平成31年/令和元年）	7	4.6
4	2020年（令和2年）～2022年（令和4年）	20	13.2
5	2023年（令和5年）以降	7	4.6
	不明	0	
	全体	151	100.0



- 2007年（平成19年）よりも前
- 2007年（平成19年）～2017年（平成29年）
- 2018年（平成30年）～2019年（平成31年/令和元年）
- 2020年（令和2年）～2022年（令和4年）
- 2023年（令和5年）以降

2007年以前を10年単位とすると（50歳が22歳で移住：28年前＝1996年）
1年あたりの移住％は下記と換算される。母数は少なく統計的処理は困難
だが、各時期の移住者から回答を取得している。

- ・ 2007年以前：4%
- ・ 2007-2017：3.7%
- ・ 2018-2019：2.3%
- ・ 2020-2022：3.3%
- ・ 2023年以降：4.6% 以後、2018年以降移住者を「最近の移住者」と扱う。



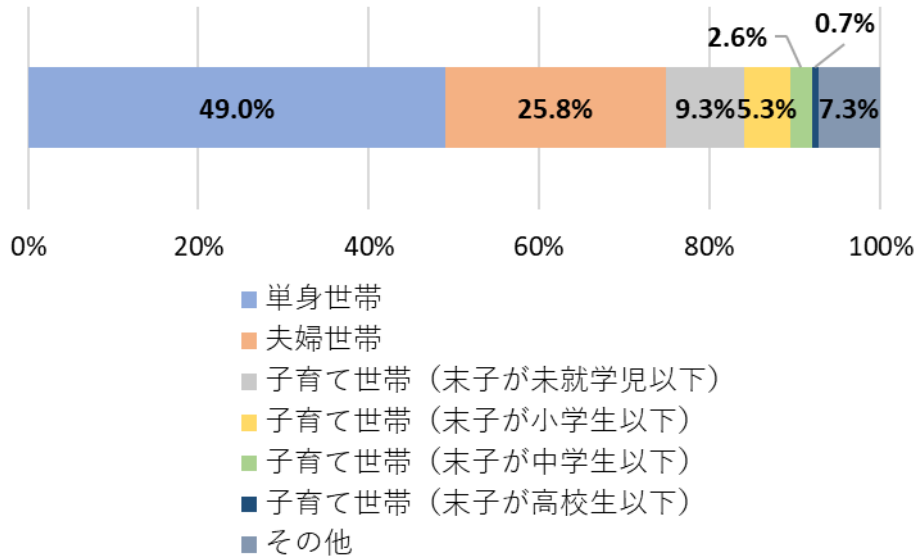
		N数	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
性別	全体	151	40.4	37.1	4.6	13.2	4.6		
	男性	101	32.7	40.6	5.9	13.9	6.9		
年代別	女性	49	55.1	30.6	2.0	12.2	0.0		
	20歳代	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0		
	30歳代	22	9.1	54.5	4.5	13.6	18.2		
	40歳代	45	40.0	35.6	6.7	13.3	4.4		
	50歳代	81	50.6	34.6	2.5	11.1	1.2		

全体+5% 全体+10% 全体-5%

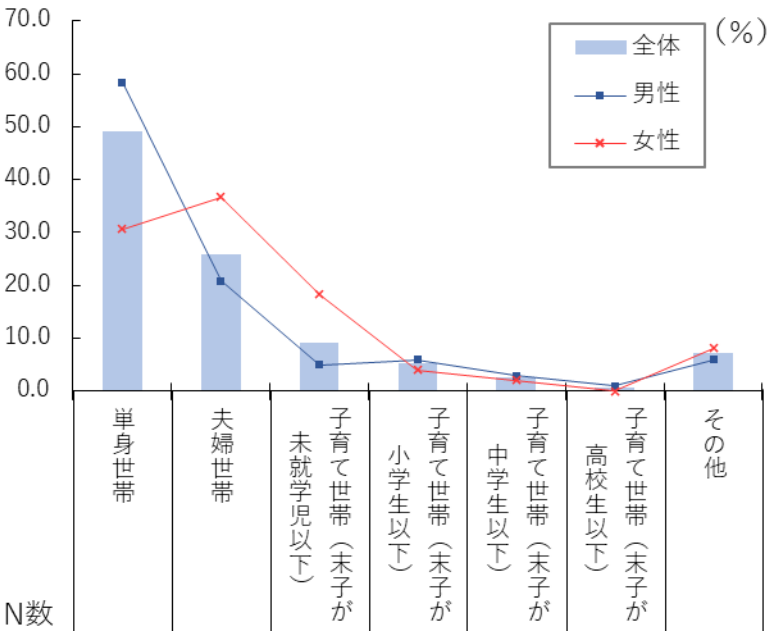
札幌市Iターン移住を開始したときの家族構成

Q.あなたが札幌市に住み始めたときはどのような家族構成でしたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	単身世帯	74	49.0
2	夫婦世帯	39	25.8
3	子育て世帯（末子が未就学児以下）	14	9.3
4	子育て世帯（ " 小学生以下）	8	5.3
5	子育て世帯（ " 中学生以下）	4	2.6
6	子育て世帯（ " 高校生以下）	1	0.7
7	その他	11	7.3
	不明	0	
	全体	151	100.0



単身世帯が最も多数、かつ男性比率が高い。
夫婦世帯が次いで多数を占める。夫婦世帯、子育て世帯（末子が未就学児以下）では女性比率が高い。

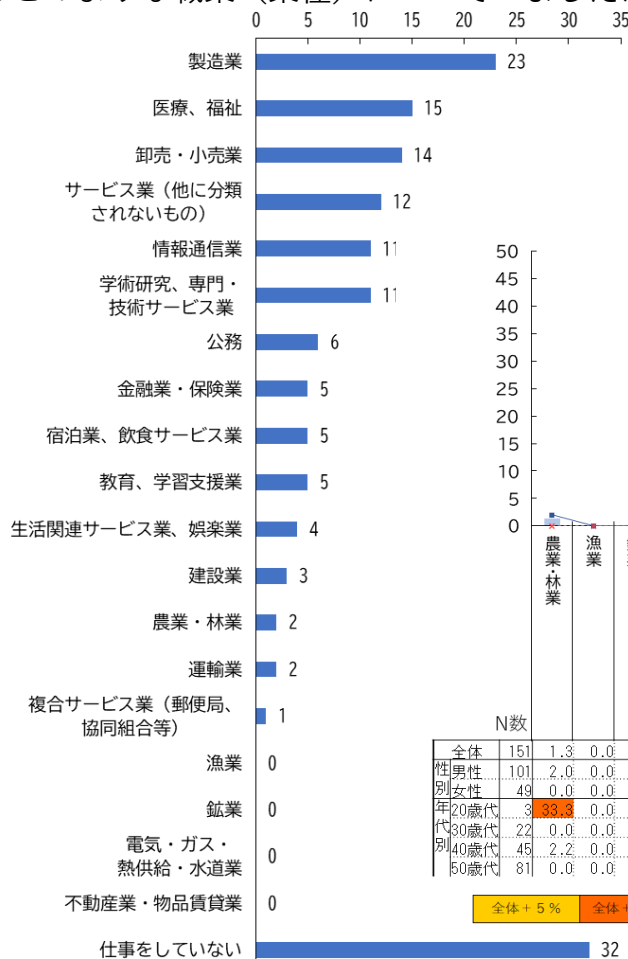


	N数	単身世帯	夫婦世帯	子育て世帯（末子が未就学児以下）	子育て世帯（末子が小学生以下）	子育て世帯（末子が中学生以下）	子育て世帯（末子が高校生以下）	その他
全体	151	49.0	25.8	9.3	5.3	2.6	0.7	7.3
性別								
男性	101	58.4	20.8	5.0	5.9	3.0	1.0	5.9
女性	49	30.6	36.7	18.4	4.1	2.0	0.0	8.2
年代別								
20歳代	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
30歳代	22	54.5	36.4	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
40歳代	45	40.0	31.1	8.9	8.9	4.4	0.0	6.7
50歳代	81	51.9	21.0	11.1	4.9	2.5	1.2	7.4

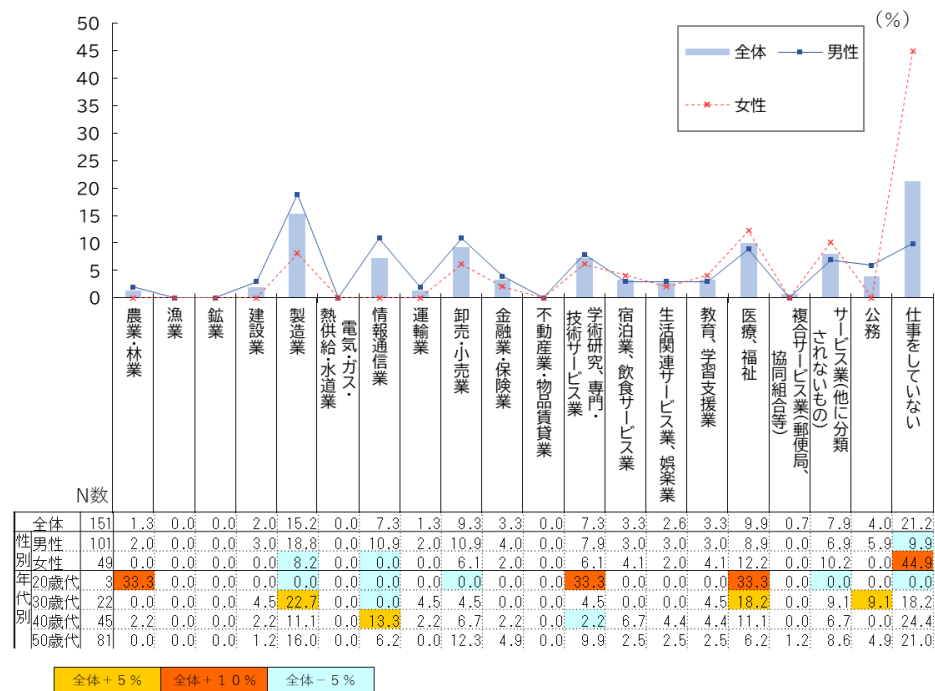
札幌市Iターン移住を開始したときの職業（業種）

Q.あなたが札幌市に住み始めたときはどのような職業（業種）についていましたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	農業・林業	2	1.3
2	漁業	0	0.0
3	鉱業	0	0.0
4	建設業	3	2.0
5	製造業	23	15.2
6	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
7	情報通信業	11	7.3
8	運輸業	2	1.3
9	卸売・小売業	14	9.3
10	金融業・保険業	5	3.3
11	不動産業・物品賃貸業	0	0.0
12	学術研究・専門・技術サービス業	11	7.3
13	宿泊業・飲食サービス業	5	3.3
14	生活関連サービス業、娯楽業	4	2.6
15	教育、学習支援業	5	3.3
16	医療、福祉	15	9.9
17	複合サービス業（郵便局、協同組合等）	1	0.7
18	サービス業（他に分類されないもの。廃棄物処理、自動車整備、建物サービス、警備、コールセンター等）	12	7.9
19	公務	6	4.0
20	仕事をしていない	32	21.2
	不明	0	0.0
	全体	151	100.0



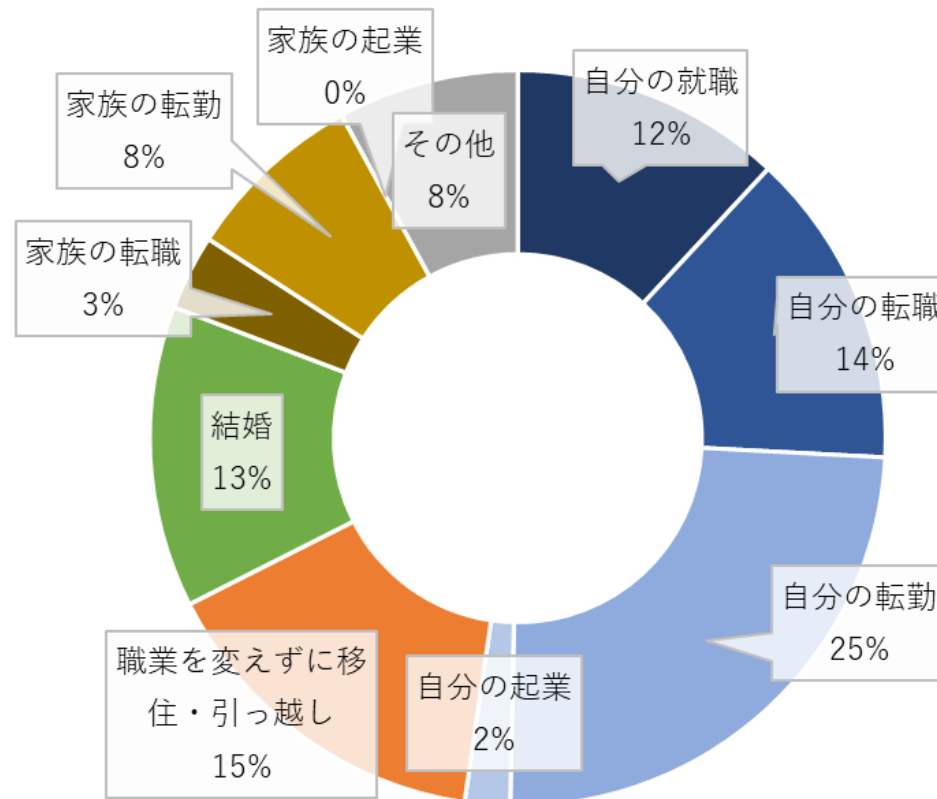
仕事をしていない層が最多、製造業、医療福祉、卸売小売業の順に続く。
仕事をしていない層は女性比率が高い。配偶者に帯同し、無職の状態でのIターン移住した傾向が推測される。



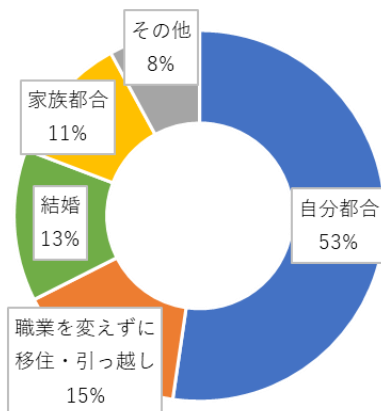
札幌市Iターン移住を開始したときの経緯

Q.あなたが札幌市にIターン移住した経緯は何ですか。

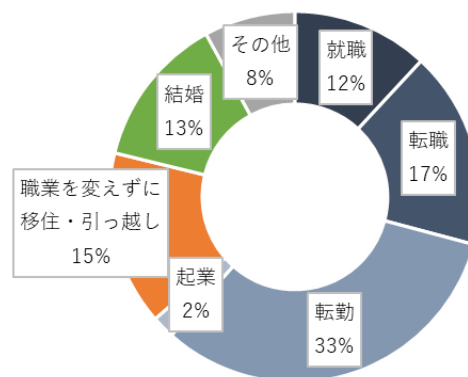
No.	カテゴリー名	n	%
1	自分の就職	18	11.9
2	自分の転職	21	13.9
3	職業を変えずに移住・引っ越し	23	15.2
4	自分の転勤	37	24.5
5	自分の起業	3	2.0
6	結婚	20	13.2
7	家族の転職	5	3.3
8	家族の転勤	12	7.9
9	家族の起業	0	0.0
10	その他	12	7.9
	不明	0	
	全体	151	100.0



<自分都合／家族都合>



<理由別>



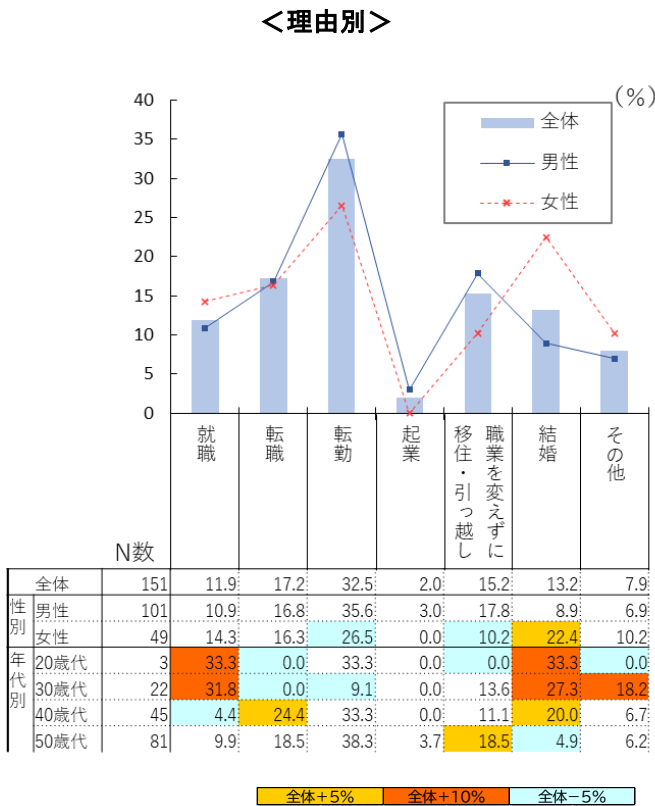
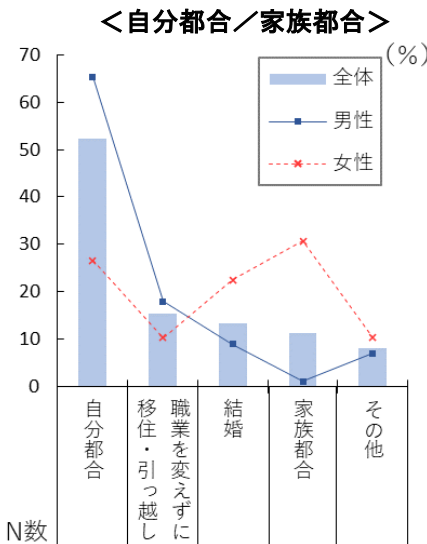
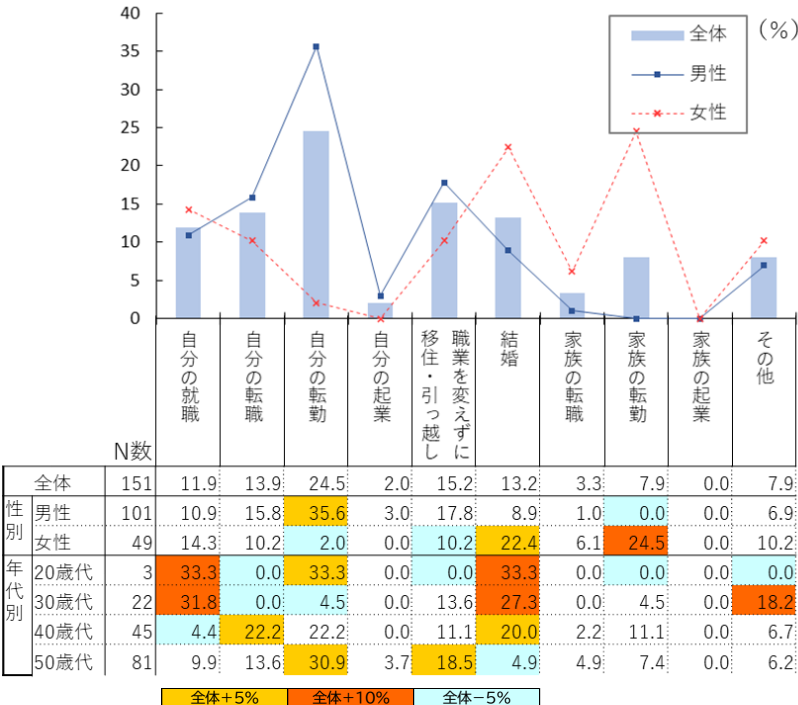
全体では、自分の転勤による移住が最多、職業を変えない移住、自分の転職が次いで多い。
自分（の職業）都合が半数以上を占める。
理由別では転勤が最多。

なお転勤については、立候補式など時代の変遷や企業体制により様々であるため、本調査で厳密に「自己都合」「勤務先都合」と分離することは困難である。

札幌市Iターン移住を開始したときの経緯

Q.あなたが札幌市にIターン移住した経緯は何ですか。

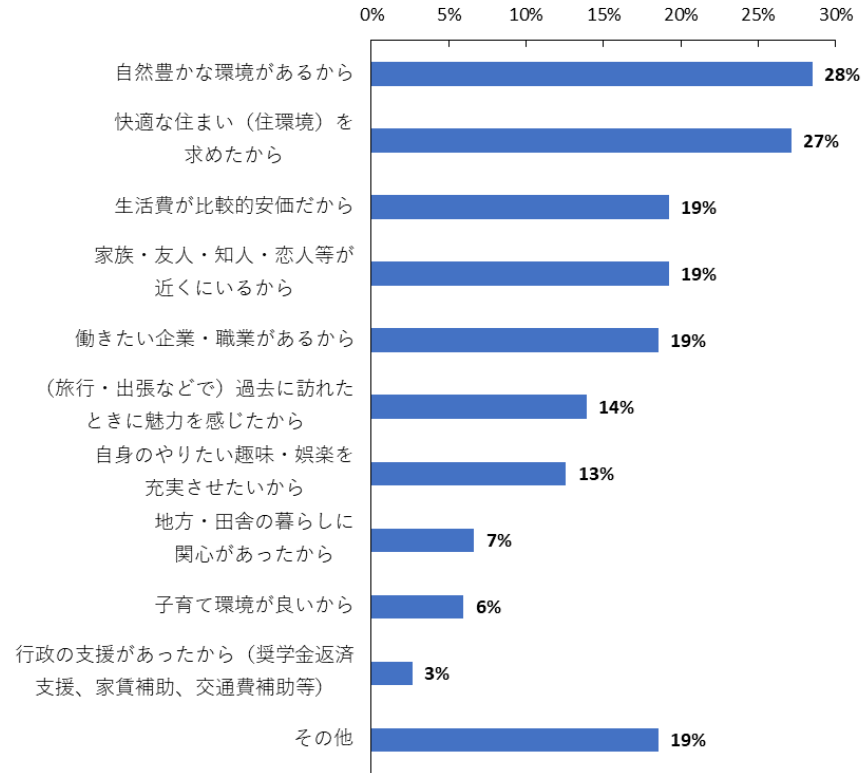
「自分の転職」「家族の転職」で男女差が特に大きい。
女性は家族に帯同の傾向が非常に強い。
また、結婚を機にIターン移住した女性も多い傾向がある。



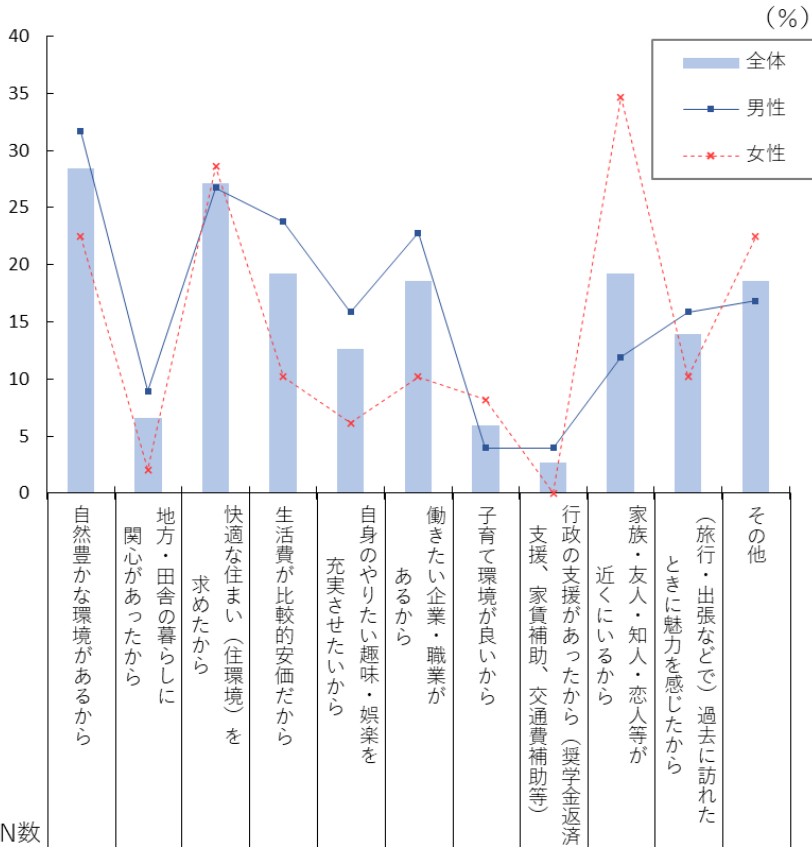
札幌市Iターン移住を検討した理由

Q.あなたが札幌市へIターン移住を検討した理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリ名	n	%
1	自然豊かな環境があるから	43	28.5
2	地方・田舎の暮らしに関心があったから	10	6.6
3	快適な住まい（住環境）を求めたから	41	27.2
4	生活費が比較的安価だから	29	19.2
5	自身のやりたい趣味・娯楽を充実させたいから	19	12.6
6	働きたい企業・職業があるから	28	18.5
7	子育て環境が良いから	9	6.0
8	行政の支援があったから（奨学金返済支援、家賃補助、交通費補助等）	4	2.6
9	家族・友人・知人・恋人等が近くににいるから	29	19.2
10	（旅行・出張などで）過去に訪れたときに魅力を感じたから	21	13.9
11	その他	28	18.5
	不明	0	
	全体	151	100.0



自然環境を求める人、住環境を求める人の順に多い。
なお、その他の内訳には「転勤のため」との意見が多かった。



性別	全体	151	28.5	6.6	27.2	19.2	12.6	18.5	6.0	2.6	19.2	13.9	18.5
	男性	101	31.7	8.9	26.7	23.8	15.8	22.8	4.0	4.0	11.9	15.8	16.8
	女性	49	22.4	2.0	28.6	10.2	6.1	10.2	8.2	0.0	34.7	10.2	22.4
年代別	20歳代	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	30歳代	22	18.2	0.0	31.8	13.6	13.6	13.6	4.5	0.0	40.9	22.7	18.2
	40歳代	45	26.7	6.7	22.2	8.9	11.1	8.9	6.7	6.7	17.8	11.1	17.8
	50歳代	81	33.3	8.6	29.6	25.9	13.6	24.7	6.2	0.0	13.6	12.3	19.8

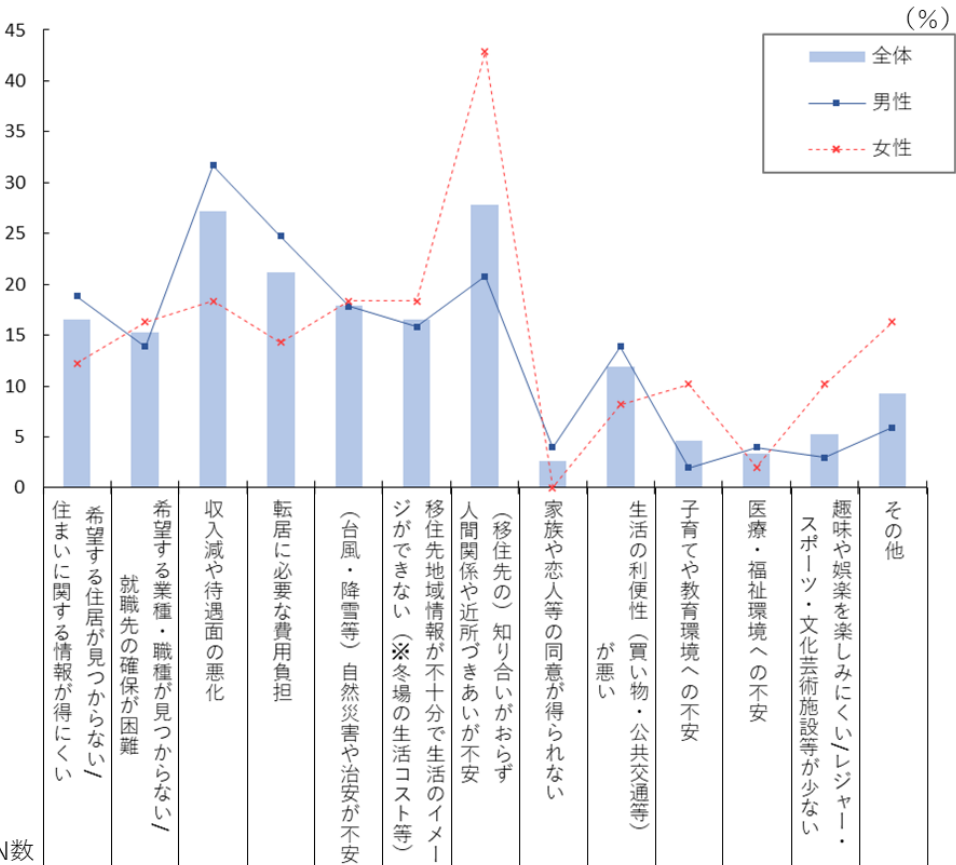
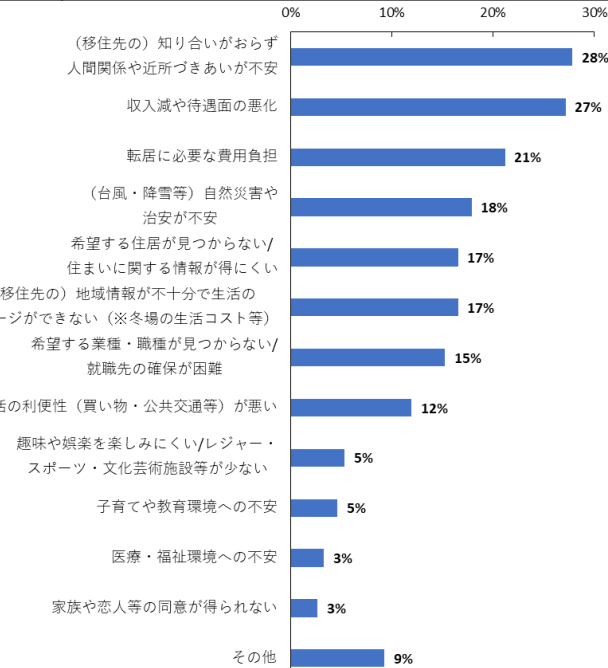
全体+5% 全体+10% 全体-5%

札幌市Iターン移住検討時の課題・不安要素

Q.あなたが札幌市へのIターン移住を検討した際に、どのような課題や不安要素がありましたか。あてはまるものをすべてお選びください。
(いくつでも)

知り合いがいないこと、収入減を課題とする人が多数を占めた。

No	カテゴリー名	n	%
1	希望する住居が見つからない / 住まいに関する情報が得にくい	25	16.6
2	希望する業種・職種が見つからない / 就職先の確保が困難	23	15.2
3	収入減や待遇面の悪化	41	27.2
4	転居に必要な費用負担	32	21.2
5	(台風・降雪等) 自然災害や治安が不安	27	17.9
6	(移住先の) 地域情報が不十分で生活のイメージができない (※冬の生活コスト等)	25	16.6
7	(移住先の) 知り合いがおりず人間関係や近所づきあいが不安	42	27.8
8	家族や恋人等の同意が得られない	4	2.6
9	生活の利便性 (買い物・公共交通等) が悪い	18	11.9
10	子育てや教育環境への不安	7	4.6
11	医療・福祉環境への不安	5	3.3
12	趣味や娯楽を楽しむにくい / レジャー・スポーツ・文化芸術施設等が少ない	8	5.3
13	その他	14	9.3
	不明	0	
	全体	151	100.0

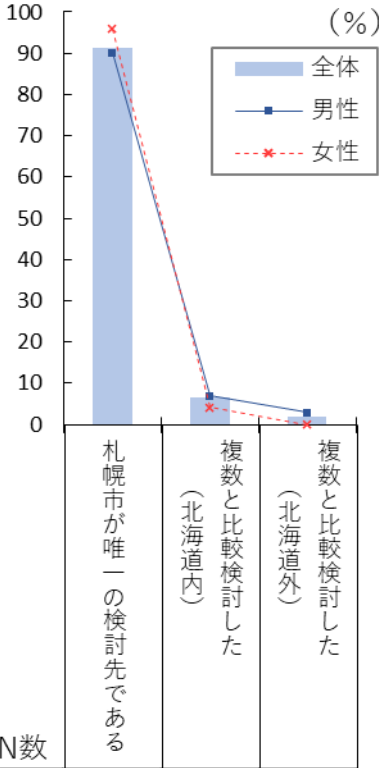
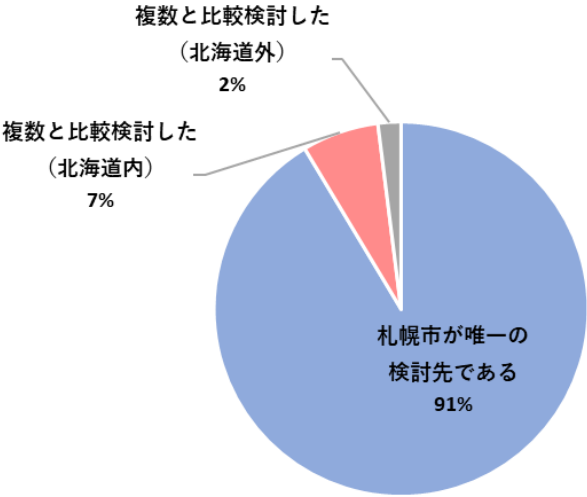


性別	全体	151	16.6	15.2	27.2	21.2	17.9	16.6	27.8	2.6	11.9	4.6	3.3	5.3	9.3
	男性	101	18.8	13.9	31.7	24.8	17.8	15.8	20.8	4.0	13.9	2.0	4.0	3.0	5.9
	女性	49	12.2	16.3	18.4	14.3	18.4	18.4	42.9	0.0	8.2	10.2	2.0	10.2	16.3
年代別	20歳代	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	22	22.7	18.2	36.4	27.3	22.7	22.7	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1
	40歳代	45	13.3	20.0	28.9	15.6	20.0	17.8	37.8	0.0	13.3	8.9	4.4	8.9	15.6
	50歳代	81	16.0	12.3	23.5	22.2	16.0	14.8	24.7	3.7	14.8	3.7	3.7	3.7	6.2

札幌市以外のIターン移住先検討状況

Q.あなたは、「札幌市」以外の他都市をIターン移住先に検討しましたか。

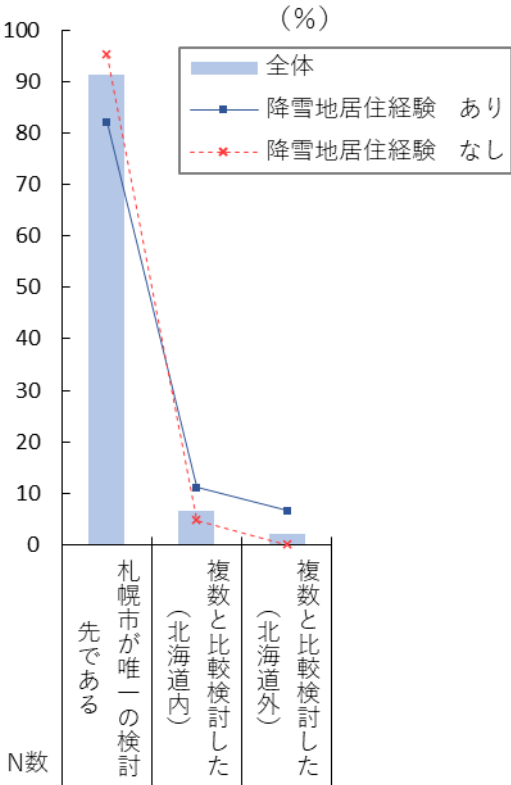
No.	カテゴリー名	n	%
1	札幌市が唯一の検討先である	138	91.4
2	複数と比較検討した（北海道内）	10	6.6
3	複数と比較検討した（北海道外）	3	2.0
	不明	0	
	全体	151	100.0



	全体	151	91.4	6.6	2.0
性別	男性	101	90.1	6.9	3.0
	女性	49	95.9	4.1	0.0
年代別	20歳代	3	100.0	0.0	0.0
	30歳代	22	95.5	4.5	0.0
	40歳代	45	82.2	11.1	6.7
	50歳代	81	95.1	4.9	0.0

大半が札幌市を単独候補として移住検討していた。

<降雪地居住経験>



全体	151	91.4	6.6	2.0
降雪地居住経験 あり	45	82.2	11.1	6.7
降雪地居住経験 なし	106	95.3	4.7	0.0

具体的な検討地、および札幌を選択した理由

Q. Iターン移住を検討した具体的な都市名、ならびにあなたが札幌市を選んだ理由を教えてください。

Q9. Iターン移住を検討した具体的な都市名、ならびにあなたが札幌市を選んだ理由を教えてください。
東京都。アイヌ文化に興味があったから。
石狩市
道内どこでも
千歳市
他に検討した市町村：旭川市、帯広市札幌市を選んだ理由：複数内定を貰った中で一番待遇面が一番良かったから。
東京。アイヌ文化が好きだから。
千歳市 1 番大きな都市だから
釧路市 帯広市 稚内市 利便性が良かった
富良野市とその近郊。札幌以外ではほぼ転職先が見つからないから。
小樽

道外検討地として東京が挙がる。

道内では石狩、千歳、小樽など札幌近郊、ほか富良野、旭川、帯広、稚内、釧路が挙がった。

ほか、札幌を単独候補として選択した理由も多少寄せられた。この中には、「都会だから」「人口が多く便利だから」という意見が散見された。

【参考】Q8で「札幌が唯一の検討先」と回答した方からも記載されていた、札幌市への検討決定理由

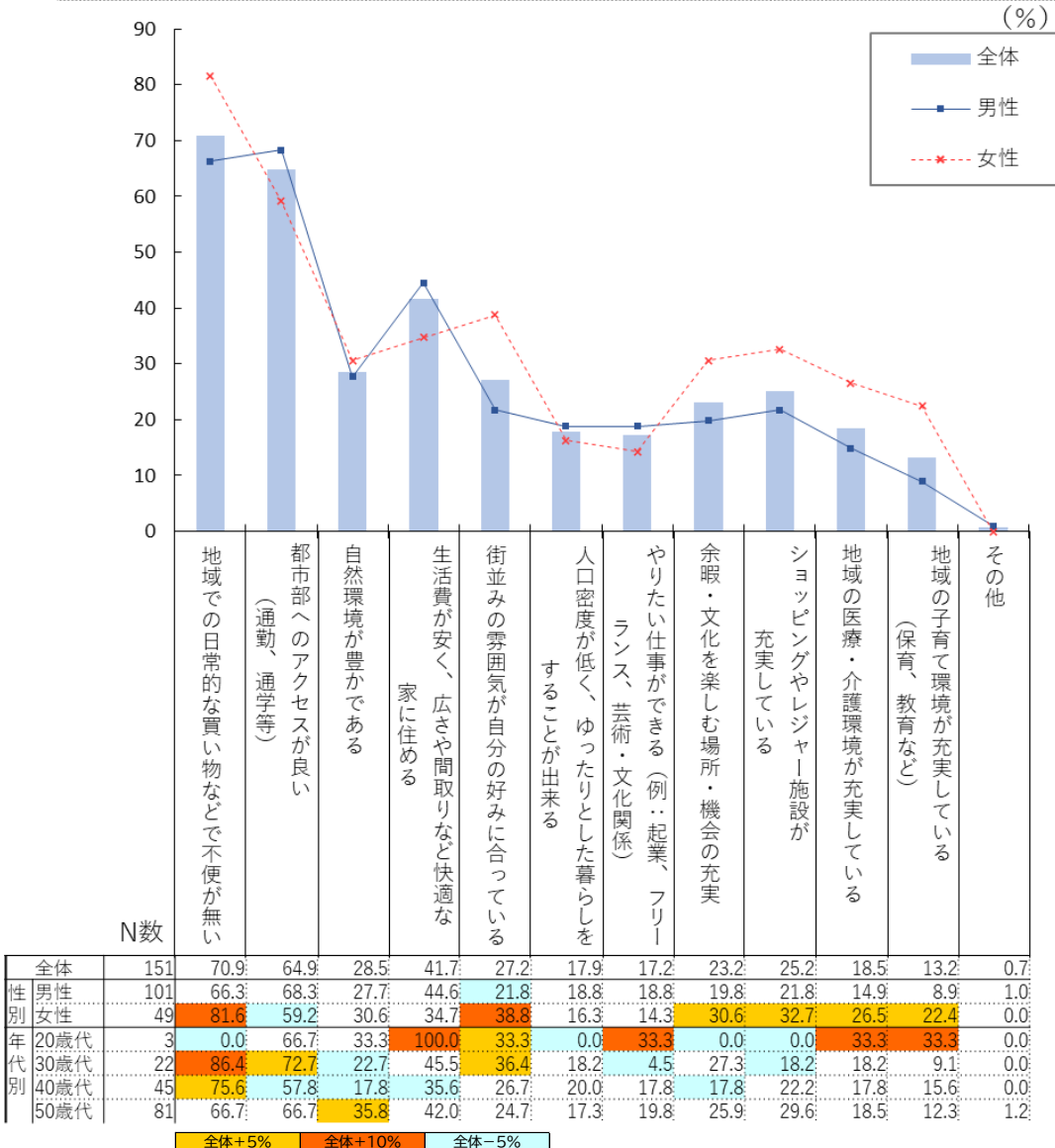
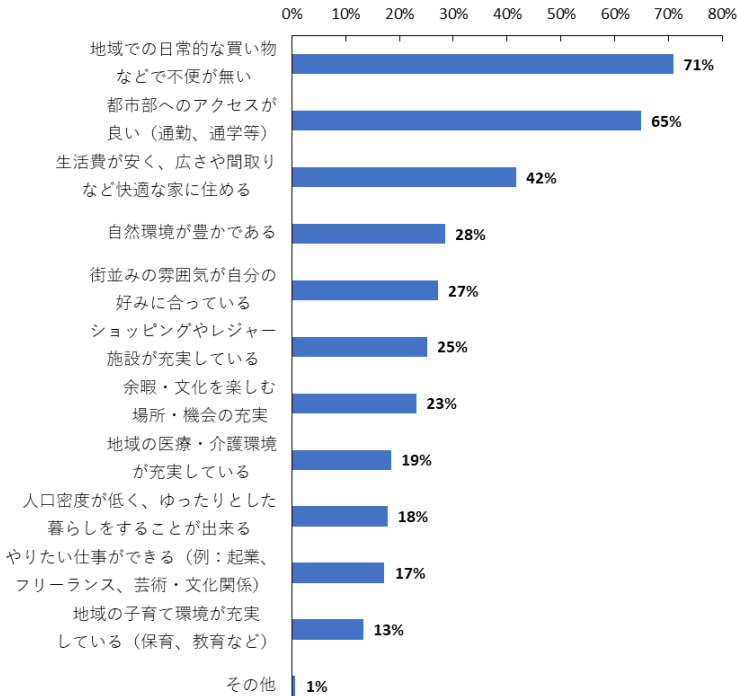
適度な都会で、東京より割安なので
住みやすい環境
札幌 西区夫の実家が北海道だから
YOSAKOI祭りと雪まつりがあるから
札幌市人口も多く可能性がある
政令指定都市だから
住みやすい
僕が脳出血後高次脳機能障害になり、妻が仕事をしなければならなくなった時に就職するなら母親の移住先である札幌で家を準備してくれるので札幌市豊平区にしようと思うって言われた
空が広い
都会だから
住みやすそうだから
人口もたくさんいて便利だから
生活するにあたって買い物する場所など充実してると思ったから。
自然がある
人口も多く便利だから
札幌であれば、全てがコンパクトにまとまっており非常に便利で東京とあまり遜色ない生活が出来る上、家賃等の物価も安い。
都会と自然が融合している町に住みたいと思ったため
交通の便

移住検討の際、生活面で重要視したこと

Q.あなたが移住を検討するにあたって、生活面の条件として重要視するものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

日常的な買い物や都市部へのアクセスなど、都市近郊型の利便性を求める人が60%以上を占める。

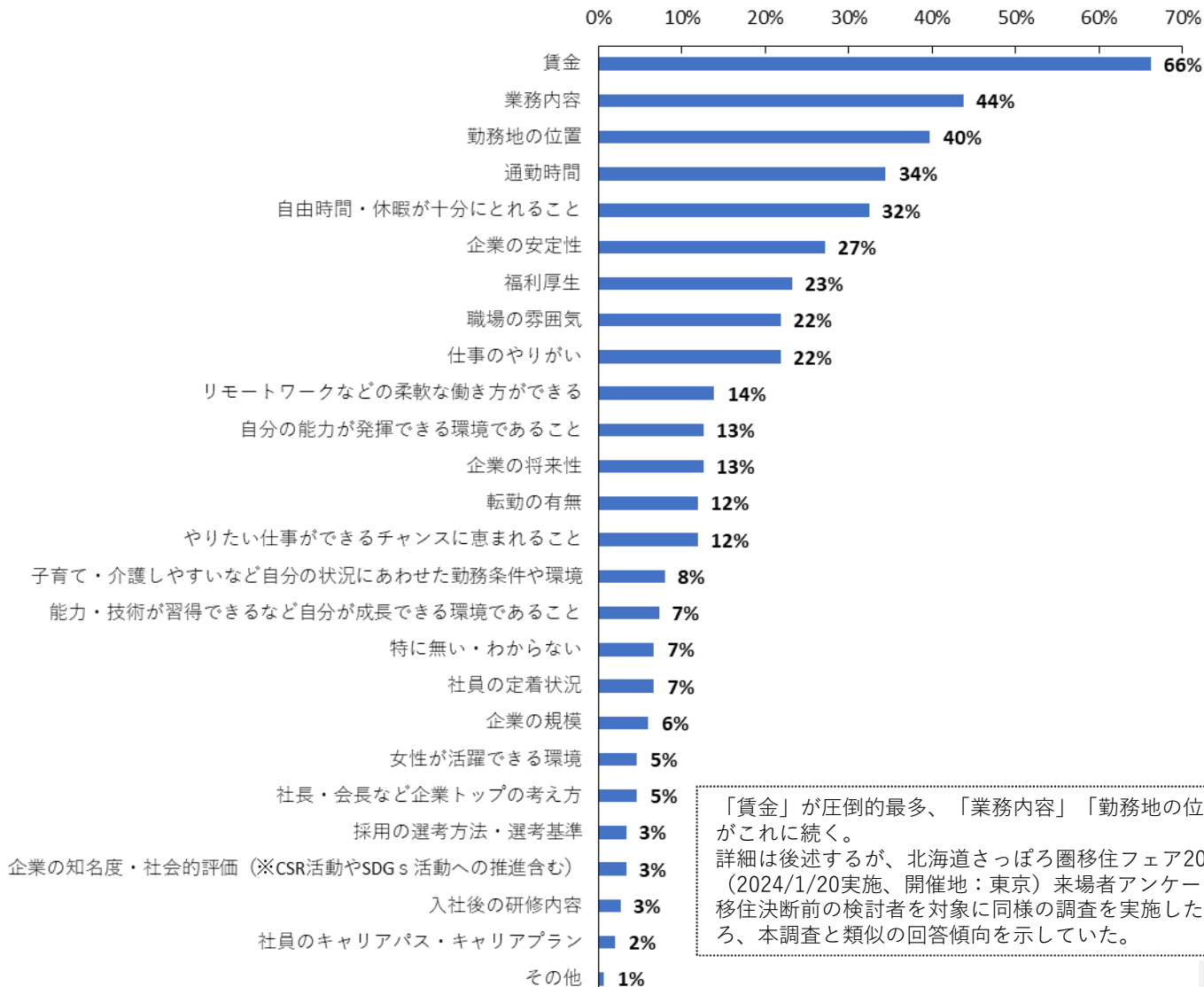
No.	カテゴリー名	n	%
1	地域での日常的な買い物などで不便が無い	107	70.9
2	都市部へのアクセスが良い（通勤、通学等）	98	64.9
3	自然環境が豊かである	43	28.5
4	生活費が安く、広さや間取りなど快適な家に住める	63	41.7
5	街並みの雰囲気が自分の好みに合っている	41	27.2
6	人口密度が低く、ゆったりとした暮らしをすることが出来る	27	17.9
7	やりたい仕事ができる（例：起業、フリーランス、芸術・文化関係）	26	17.2
8	余暇・文化を楽しむ場所・機会の充実	35	23.2
9	ショッピングやレジャー施設が充実している	38	25.2
10	地域の医療・介護環境が充実している	28	18.5
11	地域の子育て環境が充実している（保育、教育など）	20	13.2
12	その他	1	0.7
	不明	0	
	全体	151	100.0



移住検討の際、職業面で重要視したこと

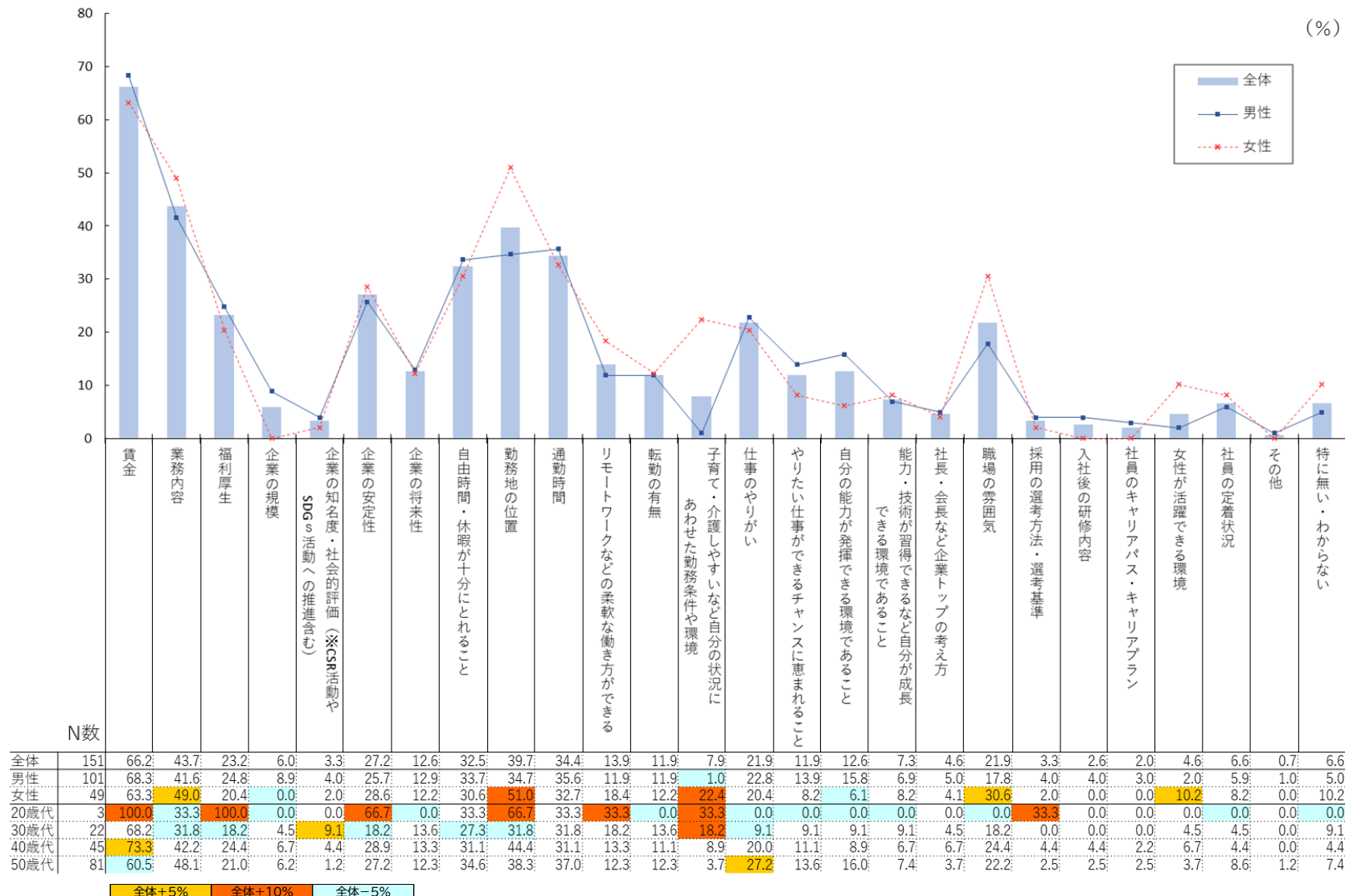
Q.あなたが移住を検討するにあたって、職業面の条件として重要視するものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリー名	n	%
1	賃金	100	66.2
2	業務内容	66	43.7
3	福利厚生	35	23.2
4	企業の規模	9	6.0
5	企業の知名度・社会的評価（※CSR活動やSDGs活動への推進含む）	5	3.3
6	企業の安定性	41	27.2
7	企業の将来性	19	12.6
8	自由時間・休暇が十分にとれること	49	32.5
9	勤務地の位置	60	39.7
10	通勤時間	52	34.4
11	リモートワークなどの柔軟な働き方ができる	21	13.9
12	転勤の有無	18	11.9
13	子育て・介護しやすいなど自分の状況にあわせた勤務条件や環境	12	7.9
14	仕事のやりがい	33	21.9
15	やりたい仕事ができるチャンスに恵まれること	18	11.9
16	自分の能力が発揮できる環境であること	19	12.6
17	能力・技術が習得できるなど自分が成長できる環境であること	11	7.3
18	社長・会長など企業トップの考え方	7	4.6
19	職場の雰囲気	33	21.9
20	採用の選考方法・選考基準	5	3.3
21	入社後の研修内容	4	2.6
22	社員のキャリアパス・キャリアプラン	3	2.0
23	女性が活躍できる環境	7	4.6
24	社員の定着状況	10	6.6
25	その他	1	0.7
26	特に無い・わからない	10	6.6
	不明	0	
	全体	151	100.0



「賃金」が圧倒的最多、「業務内容」「勤務地の位置」がこれに続く。
詳細は後述するが、北海道さっぽろ圏移住フェア2024（2024/1/20実施、開催地：東京）来場者アンケートで移住決断前の検討者を対象に同様の調査を実施したところ、本調査と類似の回答傾向を示していた。

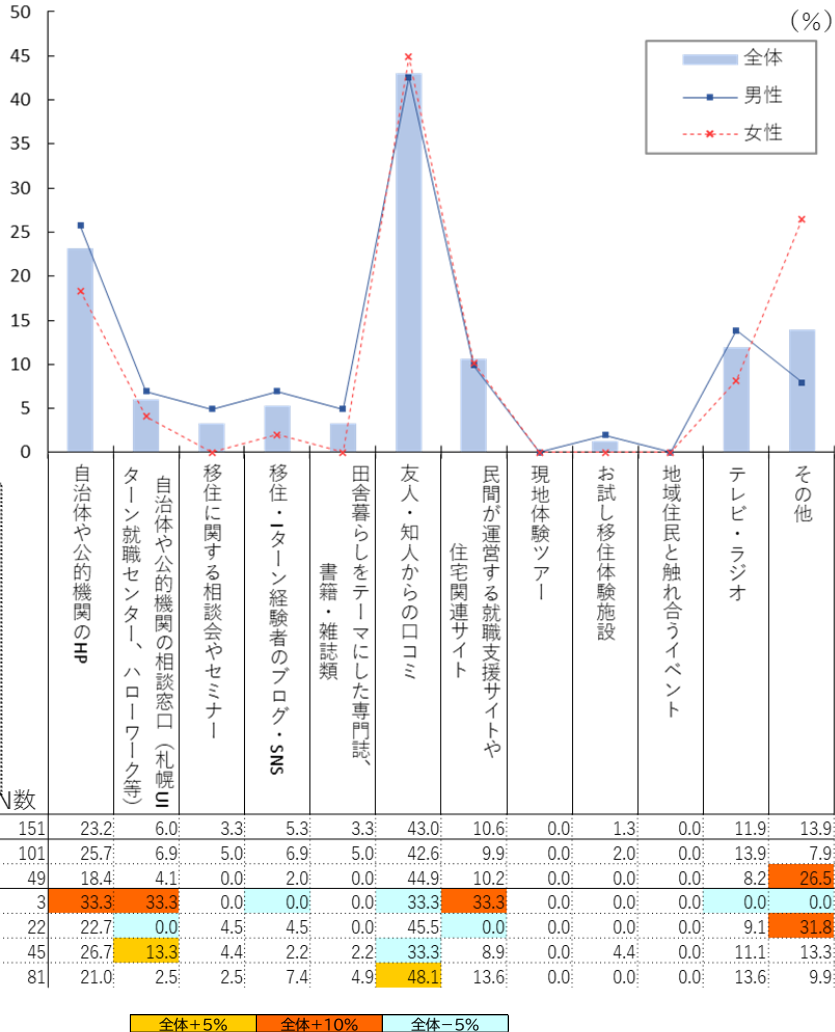
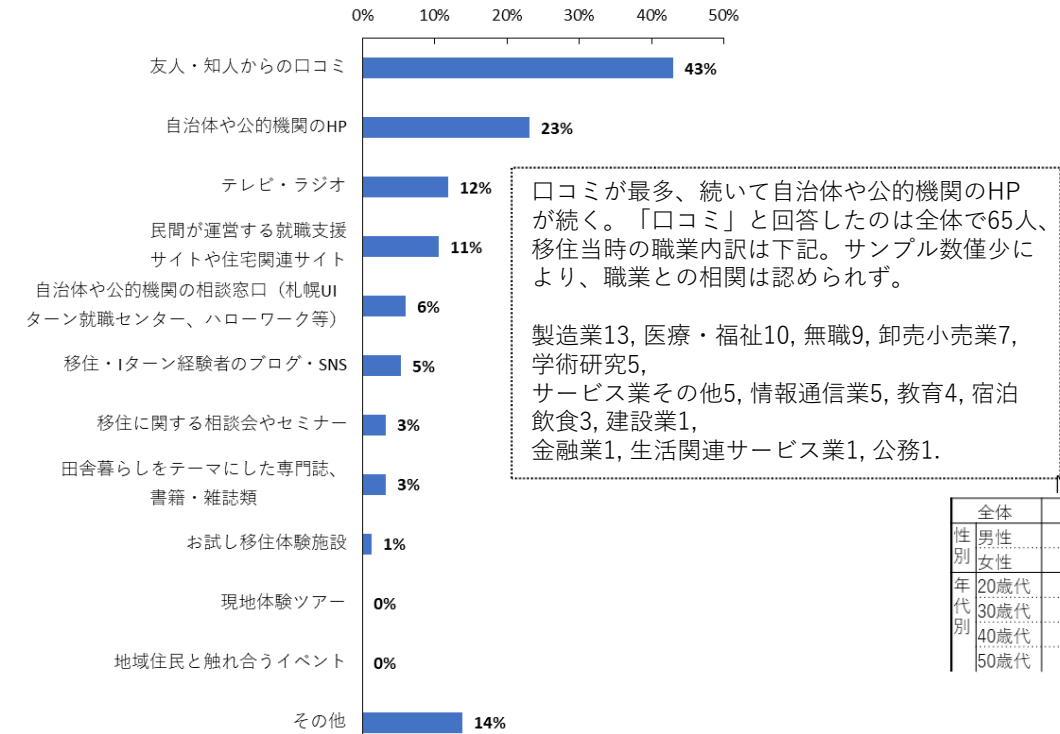
移住検討の際、職業面で重要視したこと



移住検討時の情報収集先

Q.あなたがIターン移住を検討する際に参考にした情報は、どこから集めましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

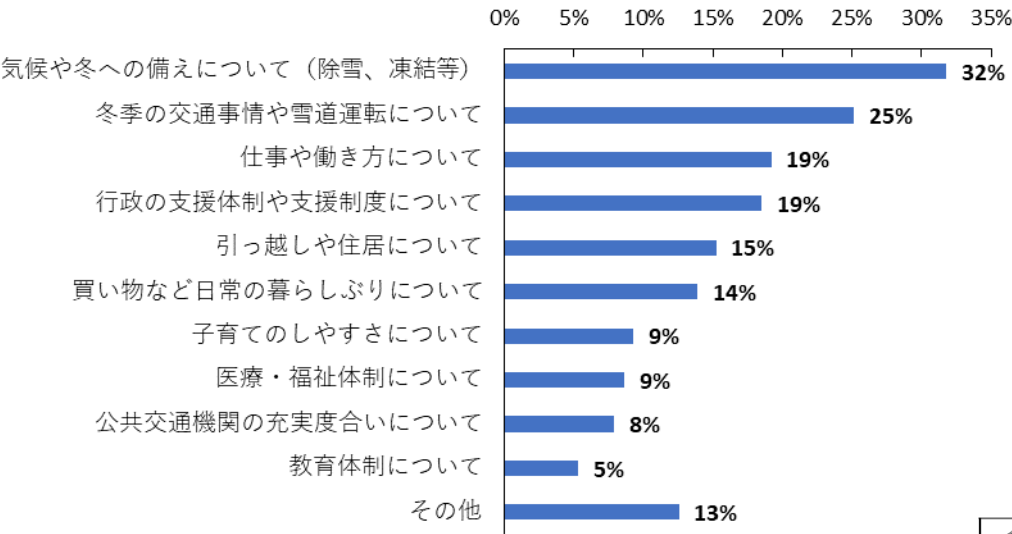
No.	カテゴリー名	n	%
1	自治体や公的機関のHP	35	23.2
2	自治体や公的機関の相談窓口（札幌UIターン就職センター、ハローワーク等）	9	6.0
3	移住に関する相談会やセミナー	5	3.3
4	移住・Iターン経験者のブログ・SNS	8	5.3
5	田舎暮らしをテーマにした専門誌、書籍・雑誌類	5	3.3
6	友人・知人からの口コミ	65	43.0
7	民間が運営する就職支援サイトや住宅関連サイト	16	10.6
8	現地体験ツアー	0	0.0
9	お試し移住体験施設	2	1.3
10	地域住民と触れ合うイベント	0	0.0
11	テレビ・ラジオ	18	11.9
12	その他	21	13.9
	不明	0	
	全体	151	100.0



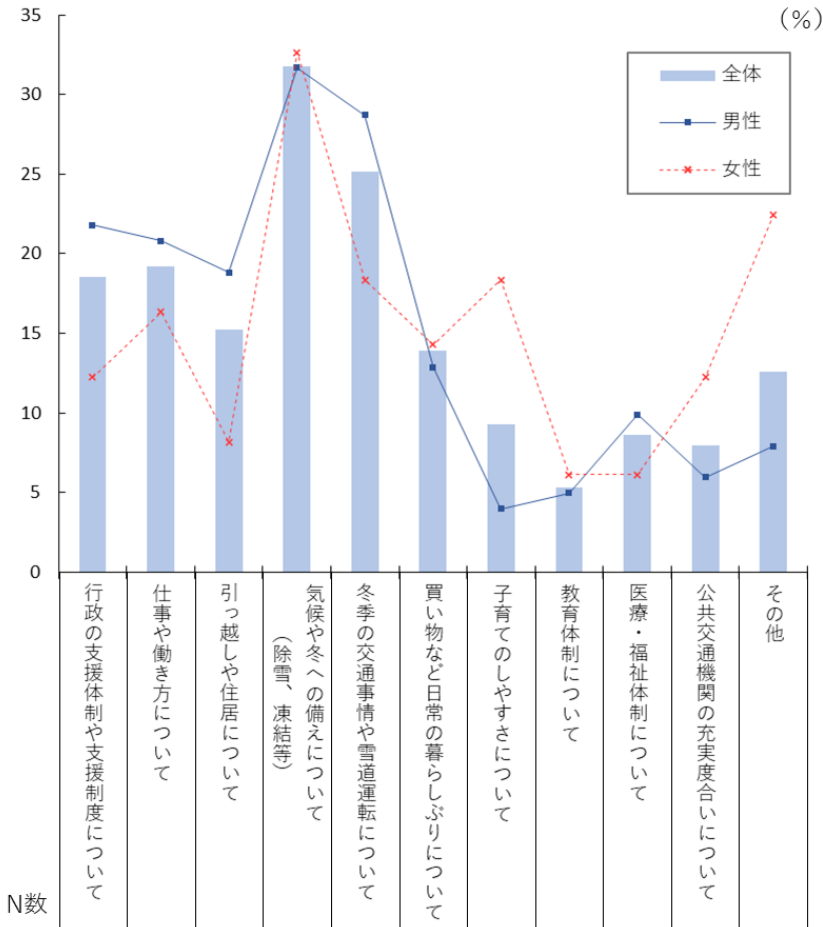
移住検討時に収集できなかった情報

Q.あなたがIターン移住の検討中に入手できず、不足していた情報は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリー名	n	%
1	行政の支援体制や支援制度について	28	18.5
2	仕事や働き方について	29	19.2
3	引っ越しや住居について	23	15.2
4	気候や冬への備えについて（除雪、凍結等）	48	31.8
5	冬季の交通事情や雪道運転について	38	25.2
6	買い物など日常の暮らしぶりについて	21	13.9
7	子育てのしやすさについて	14	9.3
8	教育体制について	8	5.3
9	医療・福祉体制について	13	8.6
10	公共交通機関の充実度合いについて	12	7.9
11	その他	19	12.6
	不明	0	
	全体	151	100.0



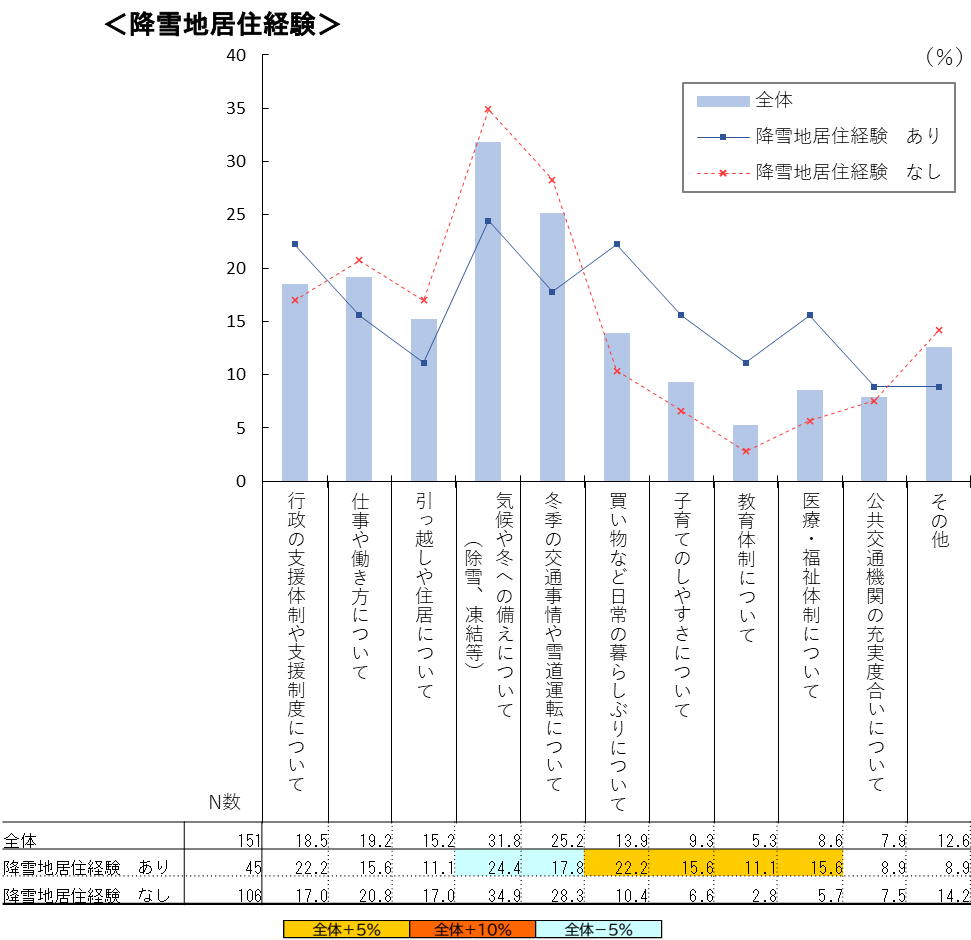
「気候や冬への備えについて」が最多、続いて「冬季の交通事情」が続く、冬に関する情報不足を訴える人が多かった。
そのほか、若年層（30代以下）で「行政の支援体制や支援制度について」の回答率が他年代よりも高かった。



N数	全体	18.5	19.2	15.2	31.8	25.2	13.9	9.3	5.3	8.6	7.9	12.6
性別												
男性	101	21.8	20.8	18.8	31.7	28.7	12.9	4.0	5.0	9.9	5.9	7.9
女性	49	12.2	16.3	8.2	32.7	18.4	14.3	18.4	6.1	6.1	12.2	22.4
年代別												
20歳代	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	22	31.8	18.2	13.6	45.5	27.3	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1	18.2
40歳代	45	13.3	15.6	22.2	24.4	13.3	17.8	15.6	11.1	13.3	11.1	17.8
50歳代	81	17.3	22.2	11.1	32.1	11.1	7.4	3.7	8.6	6.2	8.6	

移住検討時に収集できなかった情報

Q.あなたがIターン移住の検討中に入手できず、不足していた情報は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

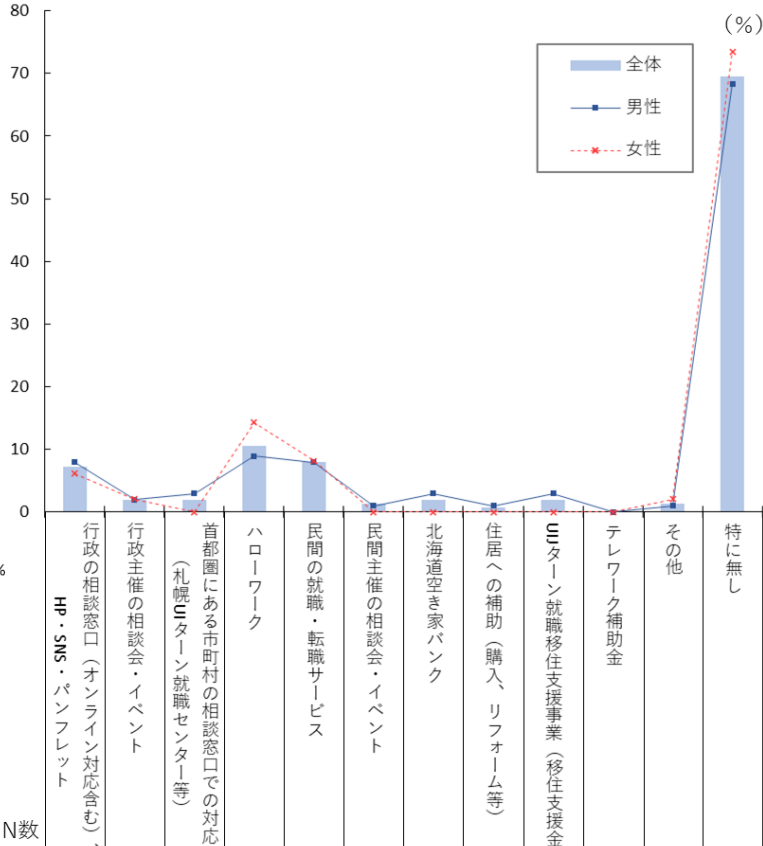


「降雪地居住経験あり」の回答者では、冬に対する情報が不足していた割合が多少減少しているが、冬についての情報自体は求めている傾向にある。

実際に活用した制度・サービス

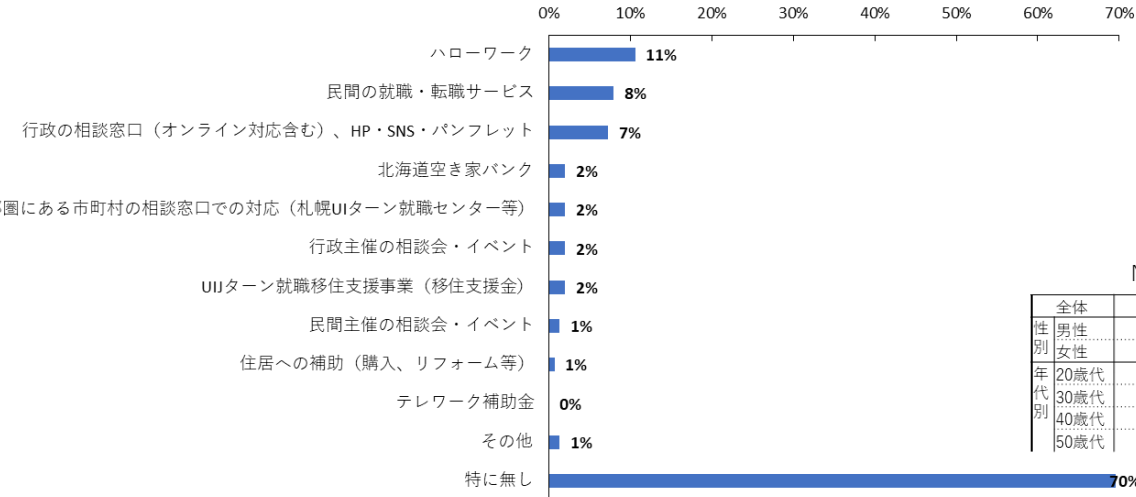
Q. Iターン移住にあたって、あなたやあなたのご家族が実際に利用した制度・サービスは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。
(いくつでも)

No.	カテゴリー名	n	%
1	行政の相談窓口（オンライン対応含む）、HP・SNS・パンフレット	11	7.3
2	行政主催の相談会・イベント	3	2.0
3	首都圏にある市町村の相談窓口での対応（札幌UIターン就職センター等）	3	2.0
4	ハローワーク	16	10.6
5	民間の就職・転職サービス	12	7.9
6	民間主催の相談会・イベント	2	1.3
7	北海道空き家バンク	3	2.0
8	住居への補助（購入、リフォーム等）	1	0.7
9	UIターン就職移住支援事業（移住支援金）	3	2.0
10	テレワーク補助金	0	0.0
11	その他	2	1.3
12	特に無し	105	69.5
	不明	0	
	全体	151	100.0



	N数	行政の相談窓口（オンライン対応含む）、HP・SNS・パンフレット	行政主催の相談会・イベント	首都圏にある市町村の相談窓口での対応（札幌UIターン就職センター等）	ハローワーク	民間の就職・転職サービス	民間主催の相談会・イベント	北海道空き家バンク	住居への補助（購入、リフォーム等）	UIターン就職移住支援事業（移住支援金）	テレワーク補助金	その他	特に無し
全体	151	7.3	2.0	2.0	10.6	7.9	1.3	2.0	0.7	2.0	0.0	1.3	69.5
性別 男性	101	7.9	2.0	3.0	8.9	7.9	1.0	3.0	1.0	3.0	0.0	1.0	68.3
性別 女性	49	6.1	2.0	0.0	14.3	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	73.5
年代別 20歳代	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
年代別 30歳代	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5
年代別 40歳代	45	11.1	2.2	2.2	17.8	13.3	0.0	2.2	0.0	4.4	0.0	2.2	53.3
年代別 50歳代	81	7.4	2.5	1.2	8.6	6.2	2.5	2.5	1.2	1.2	0.0	1.2	71.6

全体+5% 全体+10% 全体-5%

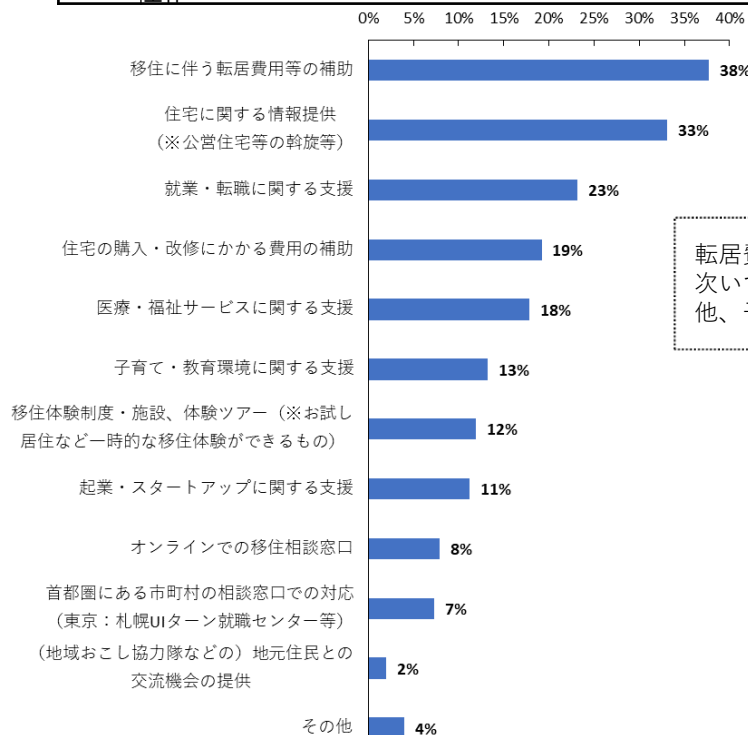


制度を特に使わない人が最多。また、ハローワーク利用者は下記。業種を問わず利用される様子。
製造業8, 情報通信業6, 運輸業1, 卸売・小売業6, 学術研究2, 宿泊・飲食2, 生活関連サービス2, 教育2, 医療福祉4, サービス業5, 無職10

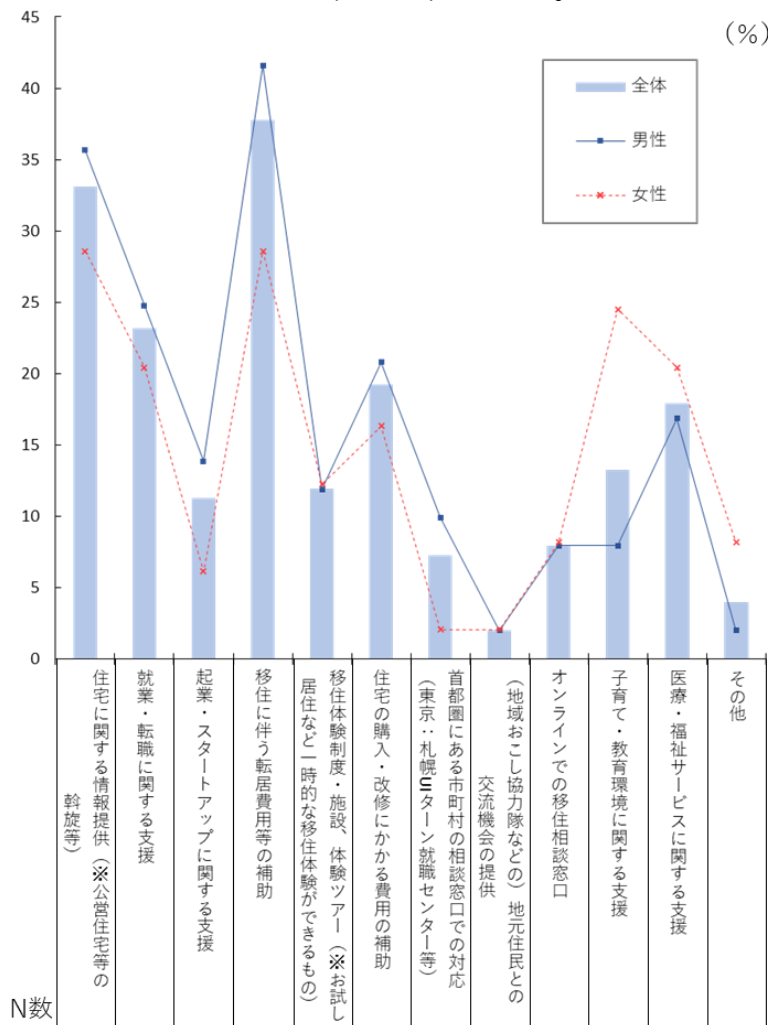
移住検討にあたり、行政に望む支援策

Q. あなたがIターン移住の検討や決断をするにあたって、行政の支援策としてあったら良いと思う取り組みは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリー名	n	%
1	住宅に関する情報提供（※公営住宅等の斡旋等）	50	33.1
2	就業・転職に関する支援	35	23.2
3	起業・スタートアップに関する支援	17	11.3
4	移住に伴う転居費用等の補助	57	37.7
5	移住体験制度・施設、体験ツアー（※お試し居住など一時的な移住体験ができるもの）	18	11.9
6	住宅の購入・改修にかかる費用の補助	29	19.2
7	首都圏にある市町村の相談窓口での対応（東京：札幌Uターン就職センター等）	11	7.3
8	（地域おこし協力隊などの）地元住民との交流機会の提供	3	2.0
9	オンラインでの移住相談窓口	12	7.9
10	子育て・教育環境に関する支援	20	13.2
11	医療・福祉サービスに関する支援	27	17.9
12	その他	6	4.0
	不明	0	
	全体	151	100.0



転居費用等の補助を求める人が最多。
次いで、住宅に関する情報提供が多い。
他、子育て教育について女性比率が高い。



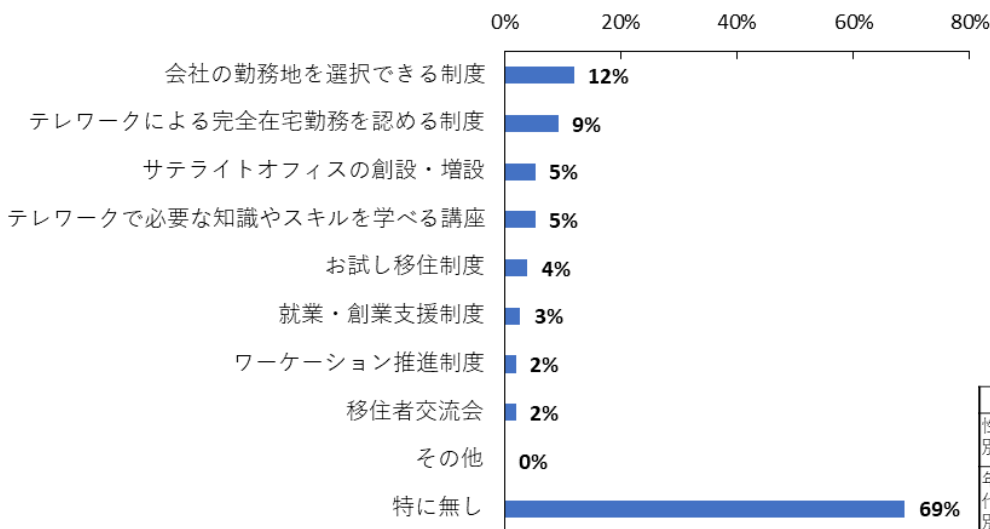
	全体	151	33.1	23.2	11.3	37.7	11.9	19.2	7.3	2.0	7.9	13.2	17.9	4.0
性別	男性	101	35.6	24.8	13.9	41.6	11.9	20.8	9.9	2.0	7.9	7.9	16.8	2.0
	女性	49	28.6	20.4	6.1	28.6	12.2	16.3	2.0	2.0	8.2	24.5	20.4	8.2
年代別	20歳代	3	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	22	9.1	31.8	4.5	50.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	13.6	13.6	13.6
	40歳代	45	33.3	20.0	13.3	31.1	6.7	17.8	8.9	2.2	11.1	24.4	26.7	4.4
	50歳代	81	39.5	23.5	12.3	35.8	17.3	24.7	8.6	2.5	7.4	7.4	14.8	1.2

全体+5% 全体+10% 全体-5%

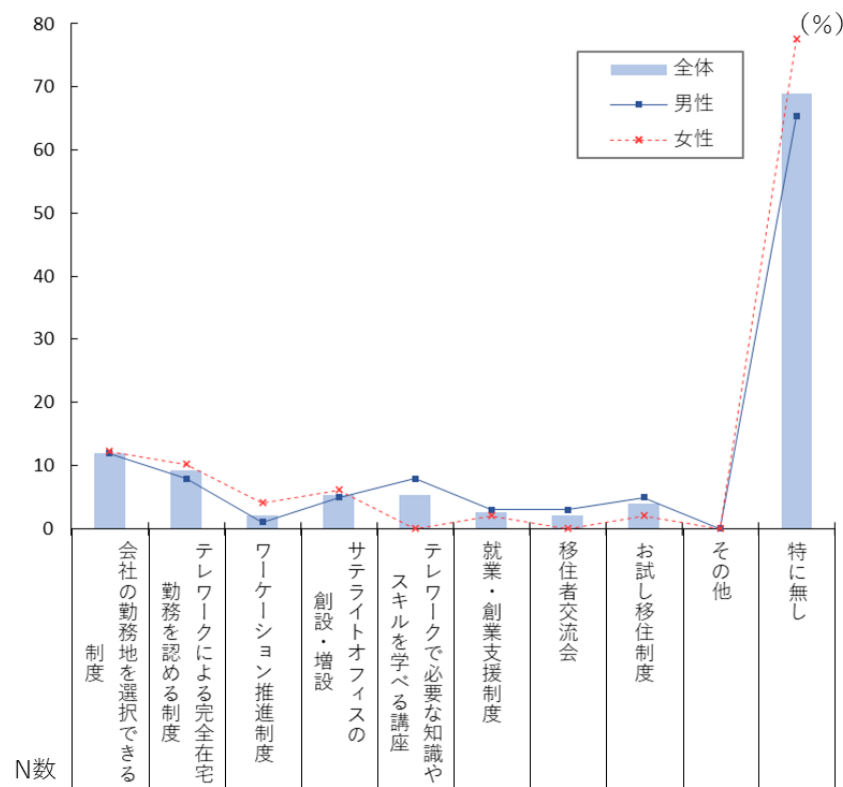
実際に活用した企業・団体の取組

Q.1 ターン移住の検討にあたり、あなたやあなたのご家族が利用したことがある企業・団体の取組は何でしたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリー名	n	%
1	会社の勤務地を選択できる制度	18	11.9
2	テレワークによる完全在宅勤務を認める制度	14	9.3
3	ワーケーション推進制度	3	2.0
4	サテライトオフィスの創設・増設	8	5.3
5	テレワークに必要な知識やスキルを学べる講座	8	5.3
6	就業・創業支援制度	4	2.6
7	移住者交流会	3	2.0
8	お試し移住制度	6	4.0
9	その他	0	0.0
10	特に無し	104	68.9
	不明	0	
	全体	151	100.0



全体では「特になし」が最多。
若年層（20代、30代）では勤務地選択制度やテレワークに関連する制度に対して関心が高い傾向があった。



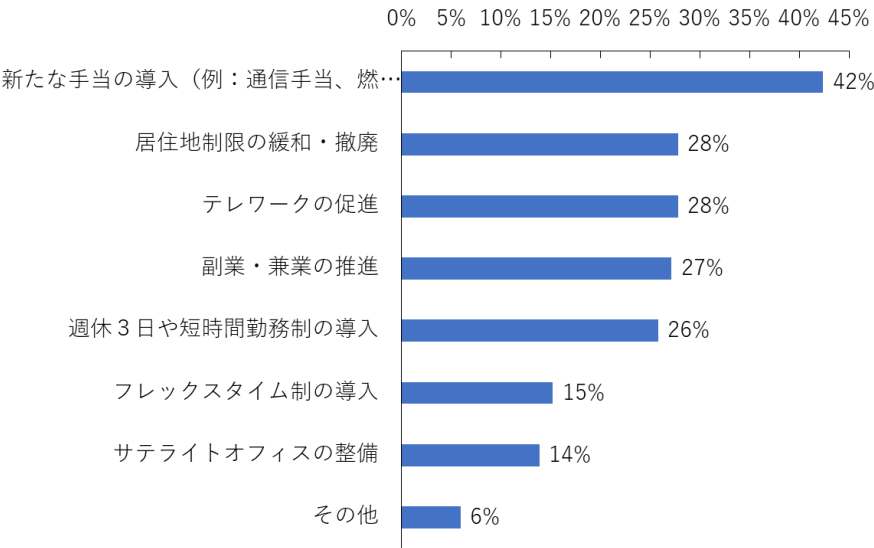
	N数	会社の勤務地を選択できる制度	テレワークによる完全在宅勤務を認める制度	ワーケーション推進制度	サテライトオフィスの創設・増設	テレワークに必要な知識やスキルを学べる講座	就業・創業支援制度	移住者交流会	お試し移住制度	その他	特に無し
全体	151	11.9	9.3	2.0	5.3	5.3	2.6	2.0	4.0	0.0	68.9
性別 男性	101	11.9	7.9	1.0	5.0	7.9	3.0	3.0	5.0	0.0	65.3
性別 女性	49	12.2	10.2	4.1	6.1	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	77.6
年代別 20歳代	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年代別 30歳代	22	13.6	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8
年代別 40歳代	45	15.6	6.7	2.2	6.7	11.1	4.4	2.2	11.1	0.0	57.8
年代別 50歳代	81	8.6	6.2	0.0	3.7	3.7	2.5	2.5	1.2	0.0	72.8

全体+5% 全体+10% 全体-5%

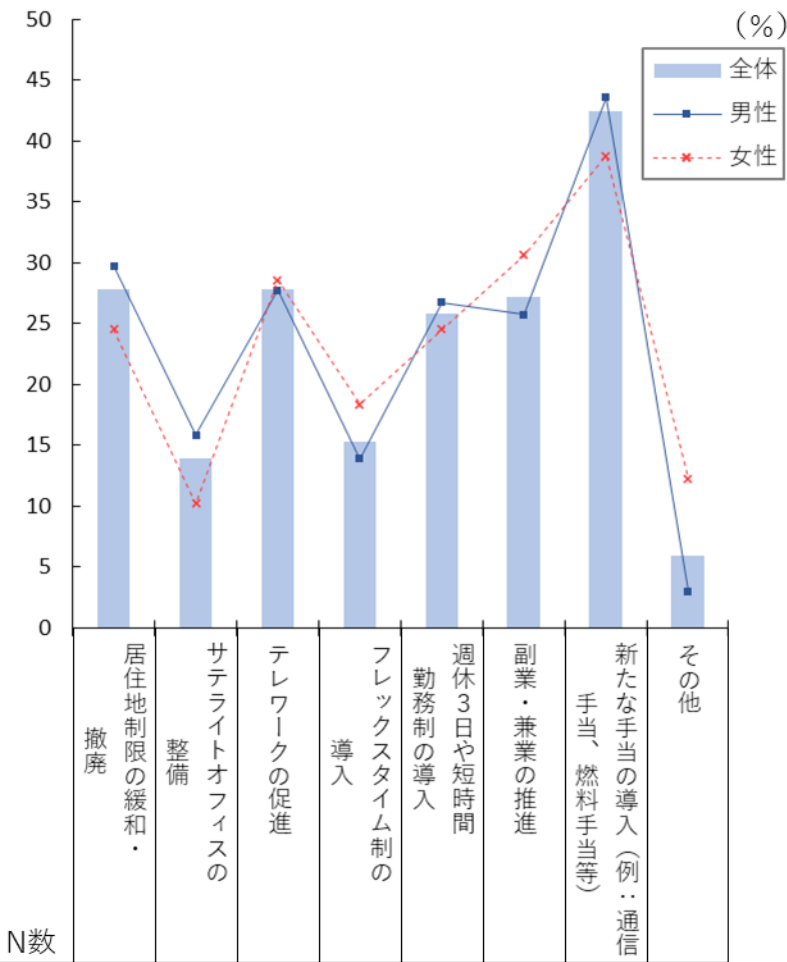
移住検討にあたり、企業・団体に望む取組

Q.1ターン移住を検討するために、あなたが企業・団体等に取り組んでほしいと思うものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

No.	カテゴリー名	n	%
1	居住地制限の緩和・撤廃	42	27.8
2	サテライトオフィスの整備	21	13.9
3	テレワークの促進	42	27.8
4	フレックスタイム制の導入	23	15.2
5	週休3日や短時間勤務制の導入	39	25.8
6	副業・兼業の推進	41	27.2
7	新たな手当の導入（例：通信手当、燃料手当等）	64	42.4
8	その他	9	6.0
	不明	0	
	全体	151	100.0



全体では「新たな手当の導入」を求む人が最多。
他にも「居住地制限の緩和・撤廃」や「テレワークの促進」などが強い関心を集めている。



	N数	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
居住地制限の緩和・撤廃	151	27.8	33.3	40.9	31.1	22.2
サテライトオフィスの整備	21	13.9	0.0	13.6	4.4	19.8
テレワークの促進	42	27.8	0.0	36.4	26.7	27.2
フレックスタイム制の導入	23	15.2	33.3	4.5	20.0	14.8
週休3日や短時間勤務制の導入	39	25.8	0.0	27.3	28.9	24.7
副業・兼業の推進	41	27.2	66.7	36.4	24.4	24.7
新たな手当の導入（例：通信手当、燃料手当等）	64	42.4	66.7	36.4	46.7	40.7
その他	9	6.0	0.0	4.5	6.7	6.2

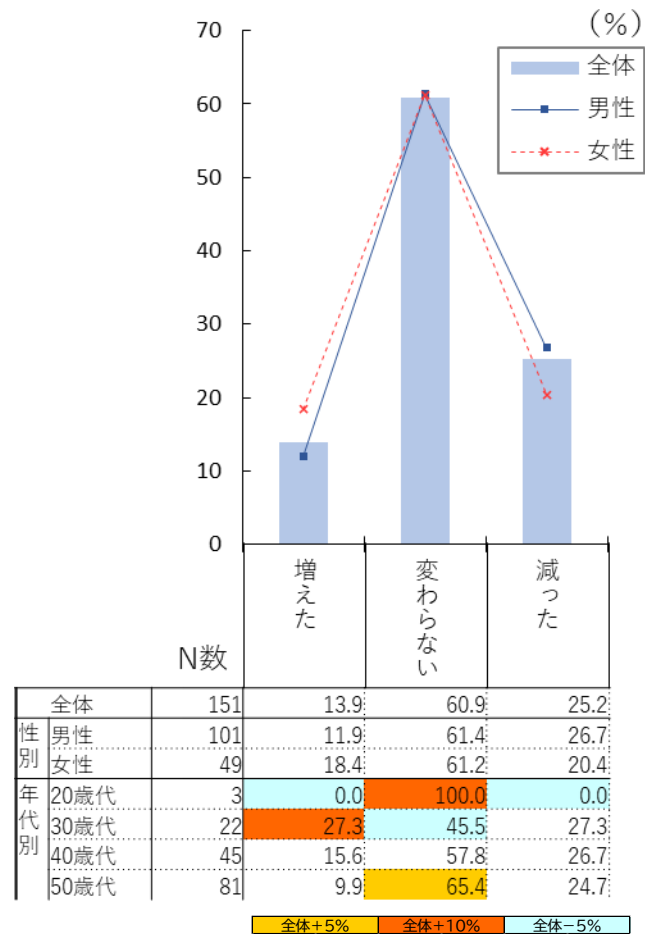
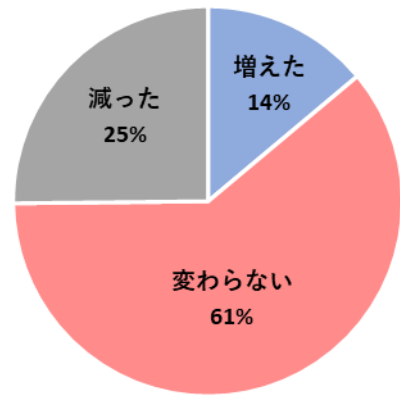
全体+5% 全体+10% 全体-5%

Iターン移住前後での世帯主年収の比較

Q.あなたの世帯では、Iターン移住直後の世帯主の年収は、Iターン移住直前に比べて変化はありましたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	増えた	21	13.9
2	変わらない	92	60.9
3	減った	38	25.2
	不明	0	
	全体	151	100.0

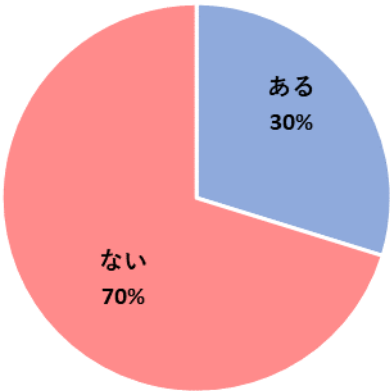
全体では「変わらない」が最多となっていた。



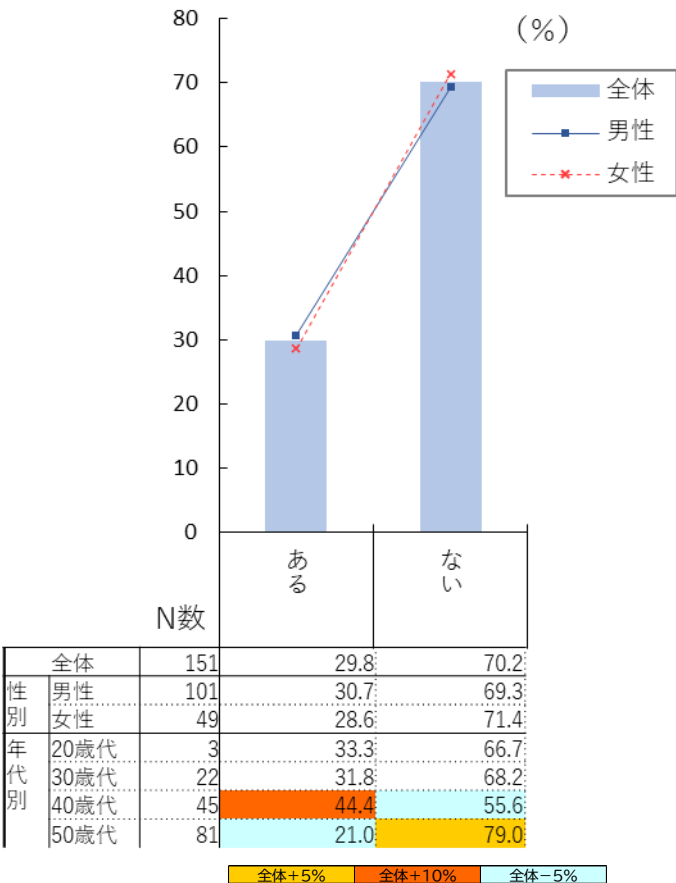
降雪地在住経験の有無

Q.あなたは過去に、積雪量の多い都府県に住んだ経験はありますか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	45	29.8
2	ない	106	70.2
	不明	0	
	全体	151	100.0



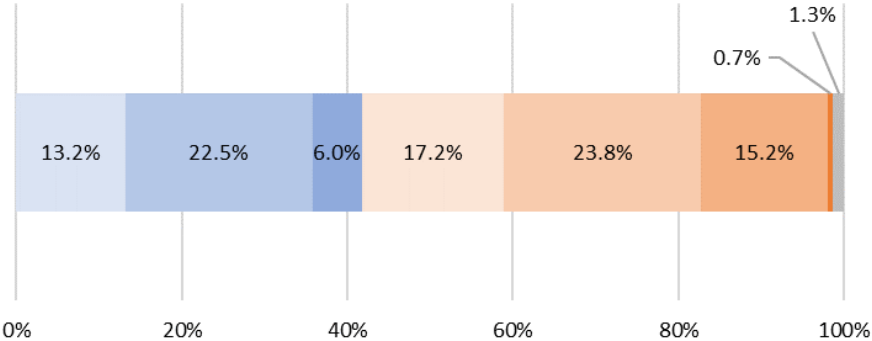
降雪地居住経験なく札幌市にIターン移住する人が大半を占めていた。



札幌市の冬を経験して思うこと

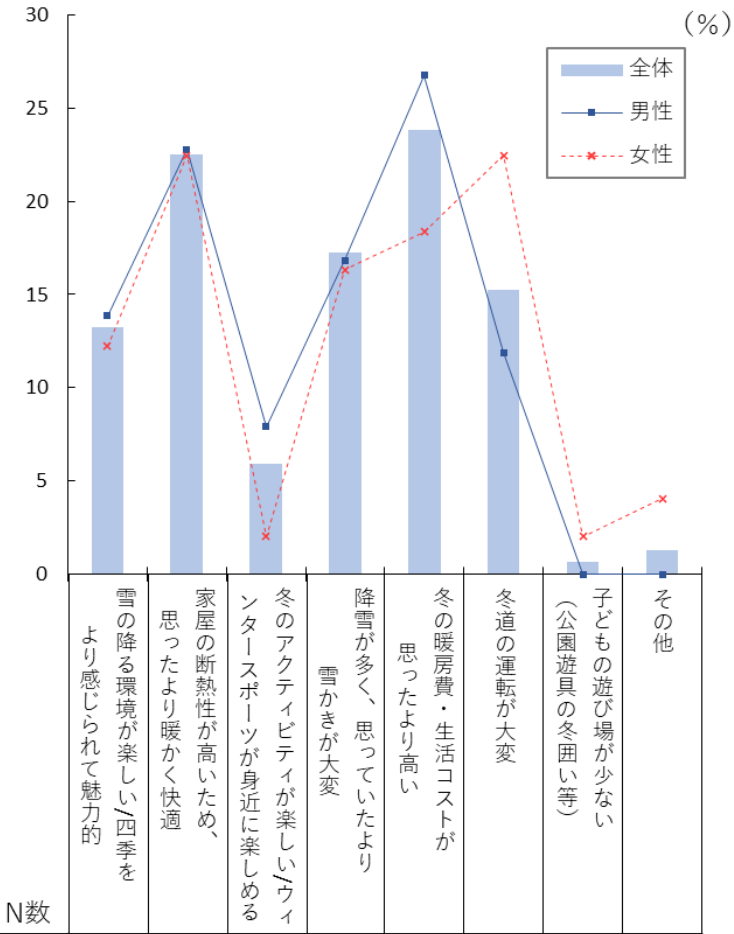
Q. 札幌市に居住し、冬の生活を経験してあなたはどのように感じましたか。あてはまるものをすべて選び、あわせてその理由についてもお答えください。 ※単一回答式設問として出題、回答回収

No.	カテゴリ名	n	%
1	雪の降る環境が楽しい/四季をより感じられて魅力的	20	13.2
2	家屋の断熱性が高いため、思ったより暖かく快適	34	22.5
3	冬のアクティビティが楽しい/ウィンタースポーツが身近に楽しめる	9	6.0
4	降雪が多く、思っていたより雪かきが大変	26	17.2
5	冬の暖房費・生活コストが思ったより高い	36	23.8
6	冬道の運転が大変	23	15.2
7	子どもの遊び場が少ない（公園遊具の冬囲い等）	1	0.7
8	その他	2	1.3
	不明	0	
	全体	151	100.0



- 雪の降る環境が楽しい/四季をより感じられて魅力的
- 家屋の断熱性が高いため、思ったより暖かく快適
- 冬のアクティビティが楽しい/ウィンタースポーツが身近に楽しめる
- 降雪が多く、思っていたより雪かきが大変
- 冬の暖房費・生活コストが思ったより高い
- 冬道の運転が大変
- 子どもの遊び場が少ない（公園遊具の冬囲い等）
- その他

肯定的選択肢の合計は41.7%、否定的選択肢の合計は57.0%だった。
なお、若年層（20代、30代）では肯定的選択肢の選択率が50%を超える傾向にあった。



		N数	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	全体+5%	全体+10%	全体-5%
性別	全体	151	13.2	22.5	6.0	17.2	23.8	15.2	0.7	1.3	0.0	0.0
	男性	101	13.9	22.8	7.9	16.8	26.7	11.9	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	女性	49	12.2	22.4	2.0	16.3	18.4	22.4	2.0	4.1	0.0	0.0
	20歳代	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	22	4.5	36.4	13.6	4.5	18.2	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0
	40歳代	45	13.3	6.7	2.2	20.0	33.3	22.2	0.0	2.2	0.0	0.0
	50歳代	81	14.8	27.2	6.2	19.8	19.8	11.1	0.0	1.2	0.0	0.0
			全体+5%	全体+10%	全体-5%							

札幌市の冬を経験して思うこと（自由回答）

Q. 札幌市に居住し、冬の生活を経験してあなたはどのように感じましたか。あてはまるものをすべて選び、あわせてその理由についてもお答えください。

＜ポジティブな選択肢＞

雪の降る環境が楽しい/四季をより感じられて魅力的
アクティビティが好きだから
さっぽろ雪まつりは、コロナで中止になった年を除き毎年行ったから。昼も夜も日を改めて、何度も通うほど大好き。中島公園の歩くスキーも無料で利用できるの、リピートして毎年行っていました。
以前の経験
街が美しい
楽しい
楽しそう
四季がはっきりしていて楽しい
四季を感じられる暮らしに憧れた
自然が味わえるから
書いてある通り
食べ物が美味しい
雪がほとんど降らない九州で生まれ育ち、雪にはあこがれのようなものがあるからです。
雪は嫌いじゃないから
雪は多いが、それにちなんで雪まつり等、雪を楽しむ祭りもあるから。
雪国に住んだ事がなかったから
冬のアクティビティ/ウィンタースポーツが身近に楽しめる
スキーが好きだから
元来スキーが好きなので思い立ったら日帰りで気軽に行くことが出来るのでとても贅沢だと感じる。
好きだから
スキーが好きだから。
ワークライフバランスが大切だから
雪質が良い

家屋の断熱性が高いため、思ったより暖かく快適
1ターム前より暖房を使う時期が遅くて驚いたから。
それほど不便ではなかった
マンションを選んだので雪かきの負担が無いから
屋内は東京より暖かい
家が暖かい
家の暖房は充実しているので
快適
寒さや雪はあまり気にならないが、雪道の運転は今だに慣れてこない。
関東とは違う家のつくり。
建物の作りがしっかりしているから
厚着はあまりしなくてもよかった
思ったより寒くなかった
住んでみてそう思ったから
雪かきに自信がなく住居に集合住宅を選びました。冬道の運転は確かに大変ですが、納得ずくで来ているので今のところ不満はありません。
断熱度の高い家が多い。
暖房費が節約できる
暖房費はもっと高くなると思っていた。
都会はエアコンで暖を取るけど、札幌は断熱効果が高い
冬、内地の家の中は非常に寒い
冬場の光熱費が高いイメージがあった
冬場実家に帰ると、これでもか！というくらい着込まないと寒くて暮らせない。家を温かくするという概念(二重窓にする、大きいFFストーブにするなど)が無い。
日が当たる日中は冬でも家の中で暖かく過ごせるから。
備え付けの暖房器具だけで足りたので助かった
複数選べなかったもので、ここに挙げます。家屋が思ったより快適…冬でも半袖でいられる快適さが便利。暖房費が高い…ここ10年くらい、灯油の価格が上がり続けていてつらい。雪かき…ご近所さんとの兼ね合いがむずかしい。冬道…何回か動けなくなりました。ほんと怖いです。予想ほど寒くはなかった。

＜その他＞

その他
除排雪のタイミングが遅すぎると、回数が少なすぎる。札幌市に移り住む前は、上川町に住んでいたが幹線道路に雪が積もって渋滞するような事は無く、雪が降ったらすぐに除排雪に来るので、札幌市がこんなにも除排雪が来ないなんて思わなかった。パートナーシップ制度で年間何千円も費用を負担しているのに、所謂『田舎』よりも生活しにくいなんて思わなかった。また、子育て支援に関しても上川町の方が手厚く、それに比べて札幌市は金銭的な負担軽減策が乏しい。
晴天の日が少ない。ずっと太平洋側に住んでいたため、毎日降雪か曇天の天候に鬱になりそうになった。

札幌市の冬を経験して思うこと（自由回答）

Q. 札幌市に居住し、冬の生活を経験してあなたはどのように感じましたか。あてはまるものをすべて選び、あわせてその理由についてもお答えください。

降雪が多く、思っていたより雪かきが大変
委託業者による除排雪がとてもしずる
意外と降雪が多く、寒さも厳しい
一軒家を持つと、除雪の大変さがわかる
札幌市の除雪対策が不十分な為
除雪が大変だから
寒い
積雪が多いから
雪かきが大変だから
雪かきで毎日筋肉痛である
雪かきをしないと外に出れない
雪が以前住んでいたところよりも多くて雪かきがとても大変
雪が多い
雪の生活が無かったので、家を建てる時に除雪のことを全く考えず設計して雪かきで大変な思いをしている
雪の量が半端なく、雪かきがすごく大変だから。
大変

冬道の運転が大変
こわいから
タイヤの交換や、凍った路面の運転に慣れていないと不安だから
運転が苦手だから
街中の運転はけっこう手ごわい
経験不足で恐怖を感じるため
国道以外の道が排雪考え道路端にあり、道が狭い。脇道から大きい道日常出るトキ、排雪のヤマで両側が見えない。危険だ。
札幌の降雪量、気温に驚いた
仕事から運転することが多いから
実際に体験してみないとわからない大変さだと思うので
除雪排雪が追い付いていないから
雪道に慣れていない
雪道の運転が不安なのはずっと変わりません
冬の運転は本当に疲れる
冬道で自動車の自損事故を起こして奇跡的に助かったから
冬道を運転した事がなく、ブラックアイスバーンで滑るし、道が悪くなって大変です。
道路が狭くなる。
道路の広さが半分になったり、滑ったりガタガタだったり大変過ぎます。仕方ありませんが。運転以外でも、歩道が無いもしくは歩きにくく、除雪の入っていない歩道を私はたどたく歩いてると、後ろの人に「ちっ」と言われました。本当にストレスで、外に出たくなくなります。
道路の両脇に除雪した雪が壁のようになっていて歩行者を確認しづらい
複数回答できるとなっていますが、できません。雪国の運転をしたことがなかったので、雪で滑るのは理解してても、氷道やでこぼこ道など雪だけではなかった。

＜ネガティブな選択肢＞

冬の暖房費・生活コストが思ったより高い
LPガスが高い
お金がかかる
ガス代が高い
プロパンガスが高い
プロパンガスの値段の高さに驚愕だった。
寒いから
寒さの実感がなかったから
給料と住宅のランニングコストが同比率でないで当初は戸惑いが大きかった。
光熱費が高い
光熱費高騰により負担大
高くてびっくりしたから
今まではさほど暖房費がかからない所で生活だったので、想像以上にコストがかかる事に驚いた
今まで暖房費がそこまでかからなかったから
思ったよりも暖房を使ってしまった。使わないと寒くて暮らせない
積雪量後異常に増えちゃった
設定温度が高い
暖房はずっとつけっぱなしだから。
暖房費がかかる
暖房費が桁違い
暖房費が想定より高い
暖房費や防寒にお金がかかる。
値上げもあるが、やはり冬季の光熱費がとてめかかる
電気代が高騰してるから
都市ガスの補給が出来てないため、冬になると暖房代が異常に高い。床暖も新築マンションじゃない限り、普通の賃貸マンションにないのが残念。
冬が長い
冬の暖房費・生活コストが思ったより高かったから。
冬寒いので、暖房をたくさん使用する。
灯油の高騰が続いているから
灯油高い
灯油代がかかる
融雪、除排雪など、とにかく光熱費と労力がかかる

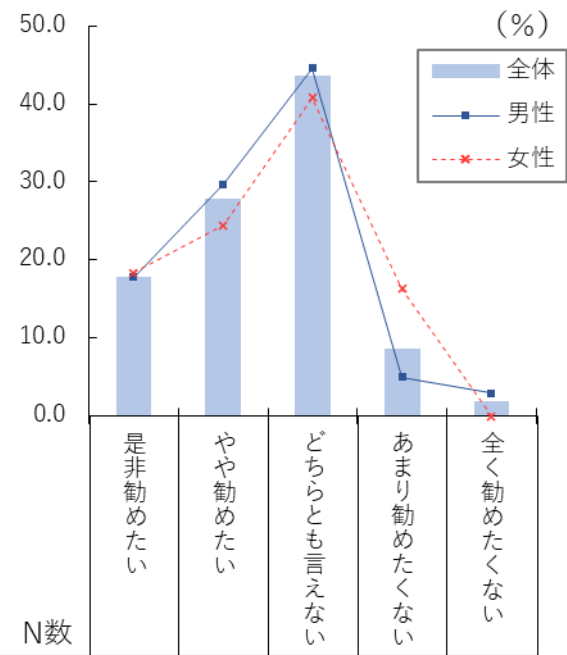
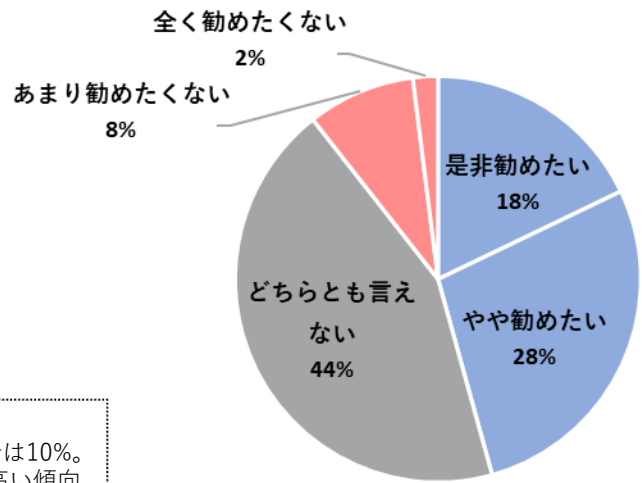
子どもの遊び場が少ない（公園遊具の冬囲い等）
子どもがいない頃はあまり気にならなかったが、子どもが生まれてから雪遊び以外の遊びができない、室内遊び場が少ない（そのためどこも混雑している）など不便で、東京に帰ったらたくさん選択肢があるのになと思うことが多いです。

札幌市へのIターン移住の推奨度、ならびにその理由

Q.あなたの経験から、ほかの人に札幌市へのIターン移住をどのくらい勧めたいと思いますか。あてはまるものを選び、あわせてその理由についてもお答えください。

No.	カテゴリ名	n	%
1	是非勧めたい	27	17.9
2	やや勧めたい	42	27.8
3	どちらとも言えない	66	43.7
4	あまり勧めたくない	13	8.6
5	全く勧めたくない	3	2.0
	不明	0	
	全体	151	100.0

「是非勧めたい」「やや勧めたい」の合計は46%、
「あまり勧めたくない」「全く勧めたくない」の合計は10%。
札幌市Iターン移住経験者の札幌市に対する満足度は高い傾向にある。
なお、「どちらとも言えない」については「価値観やニーズは人それぞれだから」等の選択理由が多く挙げられた。



	N数	是非勧めたい	やや勧めたい	どちらとも言えない	あまり勧めたくない	全く勧めたくない
全体	151	17.9	27.8	43.7	8.6	2.0
性別						
男性	101	17.8	29.7	44.6	5.0	3.0
女性	49	18.4	24.5	40.8	16.3	0.0
年代別						
20歳代	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
30歳代	22	13.6	59.1	27.3	0.0	0.0
40歳代	45	13.3	15.6	53.3	15.6	2.2
50歳代	81	21.0	25.9	44.4	6.2	2.5

全体+5% 全体+10% 全体-5%

札幌市へのIターン移住の推奨度、ならびにその理由

Q.あなたの経験から、ほかの人に札幌市へのIターン移住をどのくらい勧めたいと思いますか。あてはまるものを選び、あわせてその理由についてもお答えください。

<勧めたい理由>

「是非勧めたい」選択の理由
13年住んでも飽きないし、サツエキ近くでホワイトアウトしたのが今となっては面白い思い出です。
おすすめなため
とても住みやすい街だから
リモートワークできるから
何よりスキー場が近い。そして、食材が良い。新鮮で美味しい。庭でBBQし放題。
家賃が安いから
家賃が安いし、リモートワークもできるようになったから
楽しい
寒くて雪が降るとはいえ、地下街が発達していたり、ロードヒーティングがあったりと、行きの対策はされており、それほど不便さを感じないから。それよりも、豊かな自然や食べ物が美味しいと言う魅力が大きい。
環境が良い
空が広い
自然が豊富で住みやすい
自分が住んでみて快適だったの
住みやすい
住めば都、適度に都会で自然もある。
人口も中都市でだが、利便性も高いし住みやすい
生活コストが安い
雪は多いが、住みやすく交通の便も良いから。また、美味しいものもたくさんあって食も自然も豊かだから。
適度に田舎で適度に都会だから。
都会であり生活に不便を感じない。
冬の寒さ以外
冬は大変だが、魅力あって住みやすい街だから
東京近郊でしかできない仕事なら仕方ないが、そうでないなら検討に値すると思う。
便利で移住者に優しい街と人だと思う
良い

「やや勧めたい」選択の理由
いろんな面でちょうど良い場所
それなり便利がいい。プロスポーツ観戦もできる。
マンションなら雪掻きもする機会がなく、駅チカに住めば通勤も楽。関東に住んでいるときは2時間通勤も普通だったので。
安心して住める ほどほどに都会
一度は生まれ育った所とは全く異なる環境に住むべき
屋内は暖かいから
価値観が人それぞれだから
快適だから
割と快適なので
環境が良く物価も安い
今ところだと思います
札幌は便利だし、食も豊富で美味しいです。
札幌中心部に住むと夜中の酔っ払いの嬌声以外ば困ることがないのでおすすめします
自分は弁護士という特殊な職業で働く場所を選ばないから移住できたが、一般の人にとっては地元で働くとなると賃金など不安だと思うため、安易に勧めることはできない。
実際に住んでみて、東京と比べて格段に良いと思っているから。
住みやすい
住みやすいため
住みやすい町なので
住みやすく働きやすい街だから
住んだら楽しいけどやはり冬は寒い
除雪は大変だが、住むにはいい場所
食べ物うまい、物価安いし、冬以外は気候も良い
人によって好みがちがうから
人は自由だし強制したくないから
生活するうえで便利である
生活環境が良く、食べ物が美味しい
積雪の多さ以外は不便に思うことがないから。
雪は降るが、物価は安い、食べ物うまい。
転勤族として数か所の自治体や地域に住んできましたが、過去に住んできた場所やその近隣と比べて、総合的な満足度は札幌が最も高いです。食のレベルの高さ、ゆとりのある住環境、都市型および郊外型レジャーの充実など、高い水準でバランスが整っていると思います。ただし、雪による不便を受け入れる覚悟は必要。また、賃金水準、教育水準が低いことは気にかかる。雪はどうにもできないが、賃金水準と教育水準を引き上げることで、札幌移住のハードルが下がる人はたくさんいると思います。
冬の雪かきが大変だが、その他の季節は過ごしやすいから。
冬の雪の多さは覚悟しておかないと困ると思うので。
東京のように大きくないけど、ほどほど都市にもかかわらず、人が少ないのであまり混雑しないところがちょうどいい
年収面以外、食事住居全て快適だから
便利だし自然も多い
暮らしやすい

札幌市へのIターン移住の推奨度、ならびにその理由



Q.あなたの経験から、ほかの人に札幌市へのIターン移住をどのくらい勧めたいと思いますか。あてはまるものを選び、あわせてその理由についても教えてください。

<どちらとも言えない理由>

「どちらとも言えない」選択の理由
どうこう伝えてもその人次第だと思う
ひとそれぞれなので
何となく
何についても、人に自分の好みを勧めることが好きではないため。
夏は生活しやすいが冬は生活しづらい
夏は良いが冬は大変
快適さが場所や年収によるから。
寒いから
寒さに慣れるまでが大変だから
寒さは勧められない
基本的にキャリアを諦めるくらいの覚悟がある人にしか移住をすすめられないから
気候が厳しいので
気候に耐える事が出来るかわからないから
経済的に余裕があるか収入が大幅に下がる覚悟のある人にしか移住をすすめられないため
個人の価値観は様々だから
好きだから
好みだから
好みによる
自分で決めた方が良い
自分で決める
収入はかなり減るから
人それぞれのニーズが異なるから。
人にものを勧めることはないです。
人によって重視していることがわからないから。
人によって理由はさまざまなので
人により価値観は様々
人による
人に薦めるのが苦手なので。
人の好みはそれぞれだから
積雪のない地域からの転居はやはり大変なので
雪
雪のある生活を歓迎する人ばかりではないと思うから
雪の降る環境が好きではありますが、やはり除雪の大変さや雪道の怖さなどデメリットを感じる部分はあります。生活に不便はなくても魅力的な市ですが、人様にはそれぞれの事情や好みがありますので積極的に勧めることには気が引けるからです。

「どちらとも言えない」選択の理由
他人がどうこういう事ではないと思うので
都会なりの苦労がある
都会な部分と田舎な部分が両方あるのでとてもいいと思うが、就職活動が大変。収入は減るし仕事が無さすぎる。
都市なので欲しい物を手に入れるのにはさほど苦労はしないが、大雪に弱く幹線道路も除排雪が遅かったり、子育て支援が手薄であったりして、高い税金を支払っているのに、田舎の方が住みやすいと思うから。
冬の生活が問題なければ移住も良いのでは
冬以外はとってもいいけど、雪道は困る
冬道は危険だから
東京と生活は変わらないが、冬は生活に厳しいから
遊びに来るのと住むのとではやはり違うので安易には勧められない。
良し悪しがあるから

<勧めたくない理由>

「あまり勧めたくない」選択の理由
雪かきや寒さや車の運転など、とにかく冬は大変だから。
寒いから
物価が高い。オーバーツーリズム状態。
車がないと生活できない。
冬は暮らしにくい
雪が大変。車がないと生活できない。
雪が多く老後は大変
雪だけがネック
雪に対する備えがないから。札幌市が序説排泄に熱心ではないから
札幌・大通・すすきのから離れると急に田舎っぽくなり、映画館もコンサートなどのライブやショッピングなど、何かしようとすれば、結局、札幌周辺までいかないと何もなし。冬の雪かきも大変だけど、ロードヒッティングない道のところに住んでたら、雪解けの季節は約1ヶ月ぐらいは地獄のような外出になるのが苦なので、よっぽど自然が好きじゃないとおすめはしたくない。
雪
冬も大変ですが、夏のクーラーもない家もあるので大変だと思います。

「全く勧めたくない」選択の理由
人が増えるのは困る。
雪って大変
寒すぎる

本章では、有効回答数N=151の全てについて、単独集計、ならびに性別年代等とのクロス集計結果をまとめた。これらの結果より、多様な経緯や事情による移住実態が判明した。個々のサンプル数が小さいため統計的処理は困難だが、札幌市Iターン移住に限定した調査は過去に例がなくデータの新規性として有意義である。

次章以降では、本調査にて収集された結果をさらに深く考察するため、以下の観点で集計・比較・分析を行う。

- 移住開始時就業者 についての調査結果

- 調査項目4.「札幌市Iターン移住を開始したときの職業（業種）」において「仕事をしていない」との回答が最多となった。結婚や家族に帯同するため無職となった事態が推測される。仮説として、札幌市Iターン移住の決断に深く関わった回答者を「移住開始時就業者」とし、移住決断時の状況分析を試みる。

- 最近の移住者の動向 についての調査結果

- コロナ禍を通して、企業、就業者ともども、多様な働き方を認める制度制定・活用やこれに対する理解が広がっている風潮にある。この風潮が札幌市Iターン移住に与える影響を分析するため、移住時期とのクロス集計を行い、最近の移住者の動向について具体的な分析を試みる。

- 参考データとの比較分析

- さっぽろ圏移住フェア2024において、移住検討者を対象にアンケート調査が実施された。移住検討者と実際の移住者（本調査）との間で比較分析を行う。
- テレワークに関する国の調査（総務省、国土交通省）では、全国の企業や就業者を対象にテレワークの実態が明らかになっている。移住検討にあたりテレワークへの関心が高まる中、テレワーク制度の実態を比較する。